第五一 國道六號線(相馬)改良工事

六年度失業救濟

緒言

本工事ハ昭和六年度失業救濟事業トシテ當初工費八萬七千四百圓ヲ以テ茨城縣北相馬郡相馬町大字宮和田ヨリ筑波郡久賀村大字彌左衛門新田ニ至ル延長七百八十米間ヲ施行ノ豫定ナリシガ其後一萬三千二百七十圓ヲ増額シ十萬六百七十圓ヲ以テ施行スルコトナレリ

計畫大要

本國道ハ帝都ヨリ千葉縣松戸町茨城縣取手町及水戸市ヲ經テ宮城縣岩沼町ニ於テ四號國道ト聯絡スル線路ニシテ濱街道ト稱シ產業及軍事上ノ要路ナリ現文卷橋ハ延長五十八米四、有効幅員四米一ノ本橋ニシテ大正九年ノ架設ニ係リ前後取付道路ニハ屈曲ト勾配ノ急ナルモノアリ尙相馬町側約二百米ノ區間ハ堤外地ニ在リテ出水毎ニ冠水一米ニ達シ交通杜絶スルコト年々數回ニ及ビ國道幹線トシテ放置ヲ許サザル現況ニ在リ

本計畫ニ於テハ橋梁架設中心線ヲ現在ヨリ約四十米上流ニ撰ビ其前後取付道路ハ相馬町大字宮和田ニテ分岐左折シ延長四百六十米ニシテ右岸橋臺ニ接續シ左ハ橋臺ヨリ百七十六米ニシテ久賀村大字彌左衛門新田ニ達シ現國道ニ聯絡ス其延長七百八十米(橋梁延長百四十米ヲ含ム)幅員七米五ノ砂利道トス而シテ相馬町分岐點附近新設道路兩側延長二百四十米ニハコンクリート側溝ヲ設ケ其他ハ全部畑地ニ盛

土スルヲ以テ側溝ヲ附セズ尙取付道路トシテ左岸稻敷郡馴柴村大字小通幸谷地先縣道幅五米五延長百九十五米ヲ附帶施行スルモノトス

縱斷勾配ハ橋梁接續附近最モ急ニシテ三十分ノ一トナリ右岸ハ延長九十五米、左岸ハ百二十米アリ最小縱斷勾配ハ相馬町分岐點附近ニテ四百分ノ一トス屈曲半徑ハ右岸橋臺附近ノ六十米ヲ最小トシ其他ハ百二十米及二百米ナリ

橋梁ハ長百四十四米、有効幅員七米五トシ之ヲ徑間十一米ノモノ十二連ニ分割架設ス橋體ハ間隔一米六鐵筋コンクリート丁桁五通トシ橋面仕上ハ厚三厘ノ膠石鋪裝トス又橋脚ハ鐵筋コンクリート門框型トシ基礎ハ左岸常水路内ノ五基ハ外徑三米、深十米ノ井筒二個宛トシ右岸堤外地ノ六基及兩岸橋臺ハ杭打基礎トス

施工狀況

本工事ハ前年度内ニ殆ド竣功シ本年度ニハ單ニ跡片付ヲ行ヒタルニ過ギス其工事竣功表左ノ如シ

費目	前年度迄竣功高		本年度竣功高		合計	
	數量	金額	數量	金額	數量	金額
本道 工橋 事雜	六三三 米	九、三三六 圓	一 箇所	一、〇〇〇 圓	六三三 米	一〇、三三六 圓
用地費 土地買収 物件移轉、補償	九段	一、一〇〇 圓	九段	一、一〇〇 圓	一八段	二、二〇〇 圓
合計						

第五二 國道六號線(土浦)改良工事

産業開發

緒言

本工事ハ産業振興ヲ目的トスル昭和七年度工事ニシテ當初工費豫算二十萬圓ヲ以テ茨城縣新治郡土浦町ヨリ同郡眞鍋町ニ至ル延長二千三百七十二米ヲ施行ノ豫定ナリシガ其後工費五萬圓ヲ増額シ總額二十五萬圓ヲ以テ施行スルコト、ナレリ

計畫大要

土浦町字大町地先錢龜橋ヨリ眞鍋町ニ至ル現路線ハ陸前濱街道ノ一部ニシテ土浦眞鍋兩町内ヲ通ズル幹線街路ニ當レル爲メ交通極メテ頻繁ナリ然レドモ幅員概ネ狹少ニ過ギ且輓近自動車等ノ運輸増加シ一般交通ノ危險尠シトセズ而モ土浦町々内ハ舊城下町ニシテ徳川幕府時代ニ於テハ殊更街路ニ屈折ヲ設ケテ敵襲ニ備ヘタリシト傳ヘラル現在ハ急角度ノ屈曲八箇所アリ更ニ眞鍋町大字眞鍋地先ニ於ケル急坂路ノ勾配ハ約十二分ノ一ヲ示シ交通ノ障害甚ダ大ナルモノアリ

改良計畫ニ於テハ現國道人家稠密ノ部分ヲ避ケ其西方ニ中心線ヲ撰定シ起點ハ次期計畫(新治郡中家村大字下高津地先現國道ノ急坂路ヲ回避スル爲メ同郡同村大字中高津地先ニ於テ現國道ヨリ分離シテ本工事施行ノ路線ニ接續セシムル豫定)ト關聯シテ現國道錢龜橋ヨリ上流約百三十米ノ地點櫻川架橋點)ト定メ土浦町内神龍淨眞ノ二寺院及同墓地ヲ左ニ避ケ且同町内交通系統等ヲ參酌シタル結果二箇所ノ曲

折ヲ附シ眞鍋町ニ入り現道ト約百米ヲ隔テ、略々之ト並行ニ進ミ筑波鐵道ヲ平面交叉ニ依リ横斷シ縣道北條土浦線ノ直前九十米ノ地點ニ於テ現道ニ連絡ス

有効幅員ハ起點ヨリ眞鍋町ニ至ル延長一千八百六米五八十五米ニシテ其中央九米ヲ車道ニ兩側各三米ヲ歩道トス以下終點ニ至ル延長五百六十五米ノ間ハ七米五トシ歩車道ヲ區別セズ

排水設備ハ歩車道境界線ニL型街渠及街渠柵ヲ設ケ收容サレタル雨水ハ街渠下ニ埋設スル内徑三十糎乃至三十六糎ノコンクリート排水管ヲ通ジテ附近ノ水路ニ排疏セシメ眞鍋町地先切取箇所ニハコンクリート側溝ヲ設ケ路面ノ排水ヲ計レリ

路面構造ハ凡テ砂利敷ニシテ土浦眞鍋兩町内一部ノ車道ハ翌年度ニ於テ之ヲ鋪裝セントス
橋梁架設ハ土浦町地内二箇所眞鍋町地内二箇所計四箇所ニシテ内土浦町字下田町附近排水路ニ架スルモノヲ下田橋ト稱シ橋長五米五、純徑間四米五、幅員十五米ヨリ成リ鐵筋コンクリート丁型桁橋面ハコンクリート鋪裝トス同町字西町地内排水路ニ架スルモノハ御城橋ト稱シ橋長三米三四、純徑間二米七四、幅員十五米ニシテ鐵筋コンクリート版桁橋面コンクリート鋪裝ナリ尙眞鍋町地内排水路ニ架スルモノヲ眞鍋橋ト稱シ橋長七米五、純徑間六米五、幅員十五米ニシテ丁型桁橋面コンクリート鋪裝トス同町地内現町村道横斷箇所ニハ跨道橋（愛宕橋）ヲ架設ス其橋長六米五、幅員五米五ニシテ基礎杭打鐵筋コンクリート框構ナリトス

施工狀況

昭和七年六月二十七日土浦町ニ改良事務所ヲ設置シ直ニ改良路線ノ實測及所要土地買收竝ニ家屋其他

障害物移轉等ノ諸調査ヲ行ヒ其間土工用器具機械ノ蒐集及配置等施工準備ニ著手セリ
施工區域ハ之ヲ三區ニ分チ各區ニ見張所ヲ設ケ用地買收竝ニ障害物移轉等ノ進捗ニ伴ヒ先ヅ以テ土工
々事ヲ開始セリ盛土ハ起點櫻川左岸ヨリ著手シ其用土ハ新治郡中家村大字中高津ノ高臺畑地ヨリ補償
採取ノ上櫻川ニ假橋ヲ設ケ人力トロニヨリ八月十六日土運搬ヲ開始セリ而シテ土浦町淨眞寺附近及眞
鍋町地内ノ盛土ハ眞鍋町地内新路線ニ當レル高臺掘鑿ヨリ生ジタル土砂ヲ充當シ人力トロ竝ニ一部貨
物自動車ニ依リ之ヲ搬入セリ其掘鑿箇所ハ直高十三米内外ノ高臺ニシテ土質ハ砂粘土所々褐色質性土
壤ヲ含ミ掘鑿ニ際シテハ屢々山崩レ等アリ且切取口附近ハ人家稠密シ運搬途中ニハ架道橋筑波鐵道踏
切等存シ施工上困難尠カラザリシガ銳意進工ニ努メ年度内全部竣功シ總土工數量二萬九千五百四十立
方米ヲ完了セリ

橋梁ハ四箇所ノ内眞鍋橋ノ高欄及橋面鋪裝ノ一部翌年度へ繰越トナリシガ其他ハ何レモ年度内竣功セ
リ而シテ路面工及土留擁壁等ノ諸工事ハ次年度へ繰越トナレリ

本工事ニ使用スベキ勞働者豫定延人員ハ五萬四千六百八十人使用シタル延人員ハ四萬一千二百四十四
人ニシテ工事竣功迄ニハ豫定人員ヲ超過スルニ至ルベシ

本年度竣功高ハ十七萬四千二百二十六圓ニシテ之ヲ工費豫算二十五萬圓ニ比較スルトキハ七割ノ竣功
ニ當ル其竣功表左ノ如シ

第五三 國道六號線(水戸)改良工事

六年度失業救濟

緒言

本工事ハ昭和六年度失業救濟事業トシテ當初工費十九萬八千六百圓ヲ以テ茨城縣水戸市大字上市北三丸ヨリ那珂郡川田村大字枝川字鳴戸ニ至ル延長二千四百八十米ヲ施行ノ豫定ナリシガ其後九萬七千九百七十圓ヲ増額シ二十九萬六千五百七十圓ヲ以テ施行スルコト、ナレリ

計畫大要

本改良區間ハ在來國道六號線水戸停車場前ヨリ那珂郡川田村大字枝川ニ至ル市内下市ハ幅員一般ニ狹隘ニシテ電車軌道ヲ有シ且國有鐵道ノ平面交叉ヲ爲スモノ三箇所アリ加之客貨車入替連結等ノ爲メ交通ヲ遮斷スルコト一日數十回ニ及ビ而モ水戸驛前ヨリ川田村枝川ノ間ハ那珂川ヲ隔テテ目前ノ地點ニアルモ遠ク迂回シ市中二十有餘ノ屈曲ヲ經テ漸ク之ニ達スルノ状態ナルヲ以テ其交通ノ不便甚ダ大ナルモノアリ而シテ現國道ニ架セル木造壽橋ハ幅員僅ニ五米六ニシテ大正元年ノ架設ニ係リ腐朽甚シク自動車及一般交通ノ繁激ニ適應セザルヲ以テ之ガ改良計畫トシテ水戸驛前ヨリ現國道ヲ左折シ在來市道ヲ利用シ刑務所下手ニ於テ那珂川ニ架橋シ柳河村青柳ニ達シ茲ニ水郡南線ヲ跨線橋ニ依テ橫斷シ更ニ早戸川ニ架橋シ終點川田村枝川ニ於テ現國道ト合致セシムルコト、セリ

本工事ハ起點ヨリ那珂川ニ至ル延長六百五十一米ハ有効幅員九米五、那珂川ヨリ終點ニ至ル延長一千六

百三十一米ハ七米五トシ路面ハ砂利敷トス水戸市内ハ兩側ニ延長一千百四十一米ノコンクリート側溝ヲ設ケ其他ハ畑地ノ盛土ナルヲ以テ側溝ヲ設ケズ

起點ヲ發シ稍暫クハ勾配極メテ緩ニシテ跨道橋大手橋附近延長二百五十米ハ三十分ノ一ニテ最急勾配ヲ示シ圖書館下ヲ半徑三百米ニテ右廻リニ河岸ニ達シ水府橋ヲ渡リ水郡南線跨線橋前後ハ勾配四十分ノ一、半徑一公里ニテ左廻リシテ以下四十分ノ一ノ勾配ニテ終點ニ達ス新路線ハ大體一直線ヲ爲シ三橋ノ外二函渠、四溝渠竝ニ三管渠ヲ有ス起點ヨリ那珂川迄ハ舊城趾北三丸丘陵地切割ノ現道ヲ擴張スルモノニシテ掘鑿土量八萬四千立方米ニ達ス之ハ悉ク假橋ニ依リ左岸ニ運ビ道路盛土ニ利用セル外地ニ捨土スルモノトス

那珂川ニ架設スベキ水府橋ハ全長百七十一米、有効幅員十米(車道六米、歩道各二米)ニシテ徑間五十六米ノモノ三連垂直材ヲ有スル曲弦ワイレン型鋼構桁ニシテ橋面ハ鐵筋コンクリート床狀上ニ車道ニハ目立アスフアルトブロック鋪裝ヲ爲シ歩道ハモルタル鋪裝トス橋臺ハ扶壁式鐵筋コンクリート杭打基礎トシ橋脚ハ鐵筋コンクリート井筒基礎ノ上ニ軀體コンクリートヲ築造ス

國有鐵道水郡南線跨線橋ハ全長十六米二、徑間五米、有効幅員九米ニシテ橋臺ハ鐵筋コンクリート框構ニシテ杭打基礎ナリ橋體ニハ工型鋼桁ヲ用ヒ橋床ハ鐵筋コンクリート床版上ニ膠石鋪裝ヲ爲ス

川田村地内ノ小流早戸川ニ架スル早戸橋ハ長十米五、徑間九米五、有効幅員七米五、橋臺ハ杭打基礎重力式鐵筋コンクリートトシ橋體ハ鐵筋コンクリート丁型桁五通リヨリ成リ橋面ニハ三和土ヲ以テ鋪裝セン
トス

施工状況

昭和六年四月十一日那珂川右岸近クニ改良事務所ヲ設ケ直チニ土工器具機械竝ニ工事用材料ノ蒐集等
 施工準備ニ努メ先ヅ掘鑿土運搬ノ爲メ那珂川ニ假橋ヲ架シ六月十五日ヨリ掘鑿運搬ヲ開始セリ
 前年度ヨリ繰越トナリシモノハ水府橋ノ橋床及高欄等ノ一部ニシテ本年度引續キ施工シ何レモ七年五
 月三十一日迄ニ全部竣功セリ
 繰越工事ニ使用セル労働者ハ六千八百八人ニシテ前年度使用人員ヲ合スルトキハ十萬四千九百九十二人
 トナレリ

本年度竣功高ハ一萬七千四百二十一圓ニシテ前年度竣功高ヲ合算スレバ二十九萬六千五百六十四圓ト
 ナル其工事竣功表左ノ如シ

費目	前年度迄竣功高		本年度竣功高		合計		歩	竣功
	數量	金額	數量	金額	數量	金額		
本道	米 二、八二二	円 五、三三三	米 一	円 二、〇〇〇	米 二、八二三	円 七、三三三	1.00	別分
工橋	米 一	円 一、四八九	米 一	円 一、四八九	米 二	円 二、八七八	1.00	
工事	米 一	円 五、一七二	米 一	円 五、一七二	米 二	円 一〇、三四四	1.00	
費雜	米 一	円 二、〇〇〇	米 一	円 二、〇〇〇	米 二	円 四、〇〇〇	1.00	
用地費	米 一	円 六、一三四	米 一	円 六、一三四	米 二	円 一二、二八八	1.00	
土地買収	米 一	円 八、〇七八	米 一	円 八、〇七八	米 二	円 一六、一五六	1.00	
物件移轉、補償	米 一	円 三、八九二	米 一	円 三、八九二	米 二	円 七、七八四	1.00	
器具機械費								
雜費								
合計								

第五四 國道七號線(小岩)改良工事

六年度失業救濟

緒言

本工事ハ昭和六年度失業救濟事業トシテ當初工費豫算四十二萬七百二十六圓ヲ以テ東京府南葛飾郡松江町大字東小松川ヨリ同郡小岩町大字下小岩ニ至ル延長二千二百九十米ヲ施行ノ豫定ナリシガ其後三十五萬三千百二十六圓ニ減額施行スルコトトナレリ

計畫大要

七號國道ハ東京市ヨリ千葉縣市川町ヲ經テ終點千葉市ニ至リ更ニ房總地方ニ通ズル外市川、松戸間ノ道路ニ依リ六號國道陸前濱街道ト相通ゼルヲ以テ車馬ノ通行一日自動車一千五百臺、自轉車三千臺ニ達シ人馬ヲ併セタル交通總量六千ヲ算スルコト尠カラズ殊ニ中山競馬ノ開催ニ當リテハ最多一時間ノ通行自動車四百八十臺ニ上リ又屢千葉方面ニ於ケル陸軍諸部隊ノ軍用路トシテ兵馬、竝砲車及戰車等ノ重交通頻繁ナリ現在道路ハ幅員約八米ノ砂利道ニシテ其兩側ニハ幅員一米乃至一米八ヲ有スル水路アリ此外中井堀、東井堀ノ二用水路ハ本道路ヲ横斷シ之ニ菅原橋及二枚橋ヲ架設セラレ是等ノ水路ハ何レモ附近九箇町村耕地二千五百町歩ノ用排水ヲ司リ水利關係極メテ重大ナルヲ以テ暗渠、伏越、溝橋等ヲ設備セラルルモノナリ

改良計畫ハ松江町ヨリ小岩町ニ至ル延長二千二百九十米(橋梁延長二十三米ヲ含ム)ノ内松江町起點ヨリ

五百六十八米ハ在來水路ヲ埋立テ有効幅員ヲ十三米七トシ歩車道ハ高低分離トセザルモ左側一米五右側二米ヲ歩道ニ宛テ中央十米二ヲ車道トセリ

之ヨリ工事終點迄ノ間ハ菅原橋附近ニ於テ一部十一米九トセル外概ネ十一米トシ中央八米乃至八米九ヲ車道ニ兩側一米五宛ヲ歩道トス路面ハ凡テセメントコンクリート鋪裝トシ下層ハ配合一、三、六砂利コンクリートヲ用ヒ上層ハ配合一、二、四碎石コンクリート若クハ配合一、一、八、五膠石トシ横斷勾配ハ四十分ノ一ノ双曲線トス縱斷勾配ハ通常五百分ノ一トシ菅原橋ノ前後延長二十一米七及三十九米八ノ間ニ於テ最急五十分ノ一ヲ採リ路面排水ハ道路兩側ニ竝行セル水路ニ直接排水セシメ竝行水路ヲ有セザル部分ニハ兩側ニ幅員四十五糎ノ側溝ヲ設置シ松江町ニ於テ水路ノ埋立ヲ爲セル部分ハ田面ニ排水セシム道路ノ中心線ハ都市計畫委員會ノ決定線ニ依リ幅員ハ凡テ道路左側ニ擴張シ全延長ニ於テ六箇所ノ曲部アルモ殆ンド直線ニ近ク最大屈曲角度百七十五度四分ニ過ギザルニ依リ凡テ直線ヲ以テ接續セシム道路改良ニ伴ヒ左側ハ水路ノ付替ヲ要シ擁壁、暗渠、溝橋等ノ諸工事ヲ附帶施行シ路側惡水路ノ二大用水路ト交叉スル箇所ニハ伏越ヲ設ク

菅原橋ハ長九米三ノ鐵筋コンクリート桁式、二枚橋ハ長十三米八ノ工型鋼桁式及函渠型ヲ竝置セルモノニシテ何レモ近年新設セラレタルモノナルヲ以テ現在橋型式ニ準據シ有効幅員ヲ道路幅員ニ等シク十一米ニ擴張ス

施工狀況

本工事ハ前年度内ニ殆ド竣功シ本年度ニハ單ニ跡片付ヲ行ヒタルニ過ギズ其工事竣功表左ノ如シ

費目	前年度迄竣工高		本年度竣工高		合計	
	數量	金額	數量	金額	數量	金額
本道	米	円	米	円	米	円
工事橋	箇所	円	箇所	円	箇所	円
費雜	段	円	段	円	段	円
用地費	土地買収	円	土地買収	円	土地買収	円
器具	物件移轉、補償	円	物件移轉、補償	円	物件移轉、補償	円
	機械	円	機械	円	機械	円
雜費	費	円	費	円	費	円
共濟組合給與金	費	円	費	円	費	円
總計		円		円		円
歩合功						

第五五 國道七號線(小岩)改良工事

産業開發

緒言

本工事ハ産業振興ヲ目的トスル昭和七年度工事ニシテ工費豫算二十七萬圓ヲ以テ東京市江戸川區小岩町一丁目(前年度失業救濟事業トシテ施工シタル終點)ヨリ同町七丁目ニ至ル延長一千五百五十七米ヲ施行スルモノトス

計畫大要

七號國道ハ東京ヨリ千葉縣市川町ヲ經テ終點千葉市ニ至リ更ニ房總地方ニ通ズル外市川松戸間ノ道路ニ依リ六號國道陸前濱街道ト相通ゼルヲ以テ車馬ノ通行一日自動車一千五百臺、自轉車三千臺ニ達シ人馬ヲ併セタル交通總量六千ヲ算スルコト尠カラズ殊ニ中山競馬ノ開催ニ當リテハ最多一時間ノ通行自動車四百八十臺ニ上リ又屢々千葉方面ニ於ケル陸軍諸部隊ノ軍用路トシテ兵馬竝砲車及戰車等ノ重交通頻繁ナリ改良區域ハ小岩町ノ主要部ナレドモ幅員僅ニ八米ニ過ギザルヲ以テ運輸交通ノ諸機關ニ占用セラレ一般ノ通行極メテ危險ナリトス

本計畫ニ於テハ道路中心ハ大體都市計畫委員會ノ決定線ニ依リ幅員ヲ左側ニ擴張シ道路ヲ斜斷セル國有鐵道架道橋ハ他日改築ノ場合ヲ考慮シ其前後ノ幅員ハ之ヲ兩側ニ擴張セントス
縱斷勾配ハ通常五百分ノ一トシ最急二百分ノ一トセルモノ三箇所延長二百二十二米アリ横斷勾配ハ四

十分ノ一 双曲線ヲ用ヒ 歩車道ヲ高低ニ區分セル箇所ノ 歩道ハ路肩ヨリ 車道ノ中心ニ向ヒ 八十分ノ一ノ 傾斜面トセリ

有効幅員ハ起點ヨリ第一支道ニ至ル約四十五米ハ十一米トシ 其中央八米ヲ車道ニ 兩側各一米五ヲ歩道トス 以下終點ニ至ル約一千五百十二米ハ 鐵道橋敷ニ當レル二十七米(幅員狹隘五米六ニシテ 歩車道ヲ區別シ得ズ)ヲ除キ 凡テ幅員ヲ十二米二、内中央七米四ヲ車道ニ 宛テ 兩側ニ幅四十糎ノ街渠ヲ設ケ 街渠縁コソククリト塊ニ依リ 歩車道ヲ高低區分シ 兩側各二米ヲ歩道トセリ

車道ハ起點ヨリ 鐵道架道橋ニ至ル延長一千四百三十九米ヲコンクリト舗裝トシ 中心ヨリ一米左側ニ偏シタル新舊路盤ヲ境トシ 縱目筋ヲ設ケ 舗裝十米毎ニ 橫斷目筋ヲ設ク 鐵道架道橋敷ハ アスファルト乳劑舗裝トシ 以下終點ニ至ル九十米ハ 基礎ヲ碎石層トセル アスファルト舗裝トス

歩道ハ起點ヨリ第一支道ニ至ル間ハ コンクリト舗裝トシ 長三米毎ニ 目筋ヲ設ケ 以下 鐵道架道橋敷ニ至ル間ハ コンクリト平板ヲ用ヒ 該敷地以下終點迄ハ アスファルト乳劑舗裝トセリ

排水設備ハ起點ヨリ第一支道ニ至ル間ハ 道路ノ兩側ニ 側溝ヲ設ケ 以下終點ニ至ル間ハ 車道ノ兩側ニ 街渠ヲ設ケ 街渠長三十米毎ニ 設クル 街渠枿ニ 集水セシメ 更ニ 排水支管ヲ徑テ 路肩ニ 設クル 側溝若クハ 水路ニ 排水セシム 側溝ハ 道路ヲ橫斷セル五條ノ 水路及三箇所ノ 橫斷暗渠ニ 連絡セシメ 鐵道架道橋敷ノ 排水ハ 路側ニ 幅三十糎ノ 傾斜面ヲ設ケ 路面勾配ニ 應ジテ 附近ノ 側溝ニ 導水ス

電柱ハ 努メテ 歩道内 車道寄ニ 移轉セシメ 人孔ハ 高サヲ 路面ニ 一致セシメントス

施工狀況

工事施行ニ關シテハ昭和七年六月二十七日東京市江戸川區松本町所在前年度使用ノ事務所ヲ其儘使用シ實施設計測量其他諸調査ヲ行ヒ其間器具機械ノ整備等施工準備ニ著手セリ而シテ最モ急ヲ要スル用地買收竝ニ家屋其他障害物移轉等ハ幅員擴張ニ伴フ沿道住民ノ利害關係相反スル等相當困難ヲ豫想セシガ幸ヒニ進捗シ用地六段三畝七步ヲ買收シ移轉費ヲ合セ十二萬八千六百二十圓ヲ支出シ全部完了スルヲ得タリ

施工區域ハ便宜之ヲ二工區ニ分チ各見張所ヲ設ケ先ヅ土工々事ヲ開始セリ盛土數量ハ一千七百七十立方米ニシテ在來地盤ノ切取土ヲ充當シ擴張道路敷ト雖モ通行禁止ヲ行ハズシテ地均ヲ施行セリ而シテ車道内擴張路盤六千平方米ニハ厚十五種ニ砂利ヲ撒布シ歩車道全面積一萬五千三百四十二平方米ニ於テ自然輾壓及ローラー輾壓トニ依リ床固ヲ完了セリ

排水設備ノ内側溝ハ兩側延長二千八百九十六米ニシテ前年度施工ニ接續スル起點兩側延長三十八米ハ溝幅ヲ四十五種其他ハ三十六種トシ排水暗渠四十五米竝ニ橫斷暗渠三箇所ヲ合セ掘鑿床固型板取付コンクリート施行ノ順序ニ依リ十月十六日工事ニ著手シ何レモ年度内完成セリ

街渠ハ何レモL字型ニシテ車道兩側延長二千八百十三米及街渠枳八十九個、排水支管八十九個ヲ併セ施行シ以テ排水設備ヲ完成セリ

路面ハ是等諸工事前後シテ所定ノ鋪裝ニ著手シ車道面積一萬一千八百七十一平方米、歩道三千四百七十一平方米ヲ完成シタル外終點ヨリ市川橋ニ至ル取付道路一千四百平方米ニ簡易鋪裝ヲ施行シ其他ノ支道取付二十九箇所ニ幅二米ノ石張ヲ施シ路肩ノ保護トセリ之ニ要セシ盛土八百九十八立方米、張石三百二平方米ナリトス斯クテ少許ノ跡片付ヲ殘シタル外諸工事ハ豫定通り竣功セリ

本工事ニ依リ使用スベキ勞働者豫定延人員ハ四萬三千六百人ニシテ年度内使用シタル延人員ハ三萬六千九百七十六人ナリトス而シテ本年度竣功高ハ二十五萬五千三百七十八圓ニシテ其工事竣功表左ノ如シ

費目	前年度迄竣功高		本年度竣功高		合計		竣功割合
	數量	金額	數量	金額	數量	金額	
本工道			一、五七七	八、七三三	一、五七七	八、七三三	一〇〇
事費				一〇、三〇〇		一〇、三〇〇	
用地費			六段	四一、三三三	六段	四一、三三三	一〇〇
器具				八六、二三三		八六、二三三	
雜費				七、六三三		七、六三三	一〇〇
共濟組合給與金				一、四〇〇		一、四〇〇	
總計				一、四八三、三三三		一、四八三、三三三	〇・九

第五六 國道七號線(市川)改良工事 六年度失業救濟

緒言

本工事ハ昭和六年度救濟事業トシテ當初工費四十二萬八千圓ヲ以テ千葉縣東葛飾郡市川町大字市川地先及市川町大字平田ヨリ同郡葛飾町大字小栗原ニ至ル延長三千百七十七米ヲ施行ノ豫定ナリシガ其後同郡津田沼町ヨリ千葉市登戸ニ至ル間ニ於テ三箇所合計延長四千三百八十七米ヲ追加シ總延長七千五百六十四米ヲ施行スルコトナレリ

計畫大要

七號國道ハ市川町ヨリ葛飾町ニ至ル間人家連擔シ幅員七米八アリ又津田沼町ヨリ千葉市ニ至ル間ハ人家稀ニシテ幅員概ネ七米アリ其左側ハ山林多ク右側ハ直チニ海岸砂地ニ接ス軌近重交通激甚ノ爲メ現路面ノ維持漸ク困難ヲ覺ユルニ至レリ

本計畫ニ於テハ市川町ヨリ葛飾町ニ至ル間ハ現道路ヲ利用シ幅員擴張ニ依ル家屋移轉ハ努メテ一側ニ限リ道路有効幅員車道八米、歩道兩側各一米五トシ歩車道ハ平面區別トセリ路面構造ハ現在道床ヲ充分固裝メ此上ニ車道ヲ厚六糎細粒式及粒粗式アスファルトコンクリート、歩道ハ厚十二糎コンクリート鋪ヲ施シ排水ヲ目的トスル側溝ハ幅員擴張側ニ新設シ片側ハ從來ノ側溝ヲ利用ス道路ヲ橫斷セル從來ノ鐵筋コンクリート排水管ハ繼足又ハ必要ニ應ジテ新設ス而シテ最急縱斷勾配三百三十分ノ一其延長九

十米、最小屈曲半徑五十米ナリトス
 津田沼町ヨリ千葉市ニ至ル間ハ在來道路ヲ海岸側ニ擴張シ幅員ヲ十一米トシ擴張部分ニ對シテハ碎石厚八糎ヲ敷込ミ其法腹面ニハ芝張ヲ施シ在來鐵筋コンクリート管及暗渠ハ繼足シ必要箇所ニハ排水管ヲ新設海中ニ流下セシム右側海水ニ直面スル區間ハ高一米五ノコンクリート擁壁ヲ設置ス最急縱斷勾配一千分ノ九、延長百二十米、最小屈曲半徑百米ナリ

施工狀況

本工事ハ前年度内ニ殆ド竣功シ本年度ニハ單ニ跡片付ヲ行ヒタルニ過ギス其工事竣功表左ノ如シ

費目	前年度迄竣功高		本年度竣功高		合計	
	數量	金額	數量	金額	數量	金額
本道	米 七、五五四	円 一六、八三八	米 未	円 未	米 七、五五四	円 一六、八三八
工事	箇所 二	円 一、一八一	箇所 未	円 未	箇所 二	円 一、一八一
橋	段 三	円 一、〇〇〇	段 未	円 未	段 三	円 一、〇〇〇
本道						
工事						
橋						
費						
土地買収						
物件移轉、補償						
用地費						
器具機械費						
雜費						
共濟組合給與金						
總計		円 一七、一三九		円 一、一八一		円 一八、二五〇
						割合
						一〇〇

第五七 國道七號線(中山)改良工事

七年度失業救濟

緒言

本工事ハ昭和七年度ノ失業救濟事業トシテ工費三萬四千圓ヲ以テ千葉縣千葉郡津田沼町ヨリ同郡檢見川町大字稻毛ニ至ル間ニ於テ延長一千五百四十米ヲ施行スルモノトス

計畫大要

本事業區域ハ昭和六年度ニ於テ失業救濟道路改良工事トシテ道路幅員ヲ十一米ニ擴張シタル砂利道ニシテ最近重交通激甚ノ爲メ現路面ノ維持漸ク困難ヲ覺ユルニ至レリ
計畫ニ於テハ路盤軟弱ナル部分ニハ厚十二糎ノ基礎コンクリートヲ施シ其他ハ厚四糎五ノ碎石ヲ敷込ミ中央幅九米ニトペカ式アスファルトコンクリート鋪裝ヲ施行スルモノトス

施工狀況

工事施行ニ關シテハ中山町改良事務所統轄ノ下ニ夫々準備ヲ進メ昭和八年三月十七日ヨリ工事ヲ開始セリ

先ヅ路床ノ輾壓ヲ行ヒタル後所定ノ鋪裝ヲ施行シ延長七百十七米、面積六千四百五十平方米ヲ竣功シ其他ハ翌年度へ繰越セリ

本工事ニ使用セル勞働者ハ二千八百三十八人ニシテ工事竣功表左ノ如シ

費目	前年度迄竣功高		本年度竣功高		合計	
	數量	金額	數量	金額	數量	金額
本工事費—道 路			七七一 <small>米</small>	一六、三三六 <small>円</small>	七七一 <small>米</small>	一六、三三六 <small>円</small>
器 具				七七八		七七八
機 械				三八〇		三八〇
雜 費				三		三
共濟組 合給與 金						
總計			七七一 <small>米</small>	一七、四八六 <small>円</small>	七七一 <small>米</small>	一七、四八六 <small>円</small>
						歩竣 合功
						〇・〇 <small>額分</small>

第五八 國道七號線(中山)改良工事

産業開發

緒言

本工事ハ昭和七年度産業開發事業トシテ工費三十萬圓ヲ以テ千葉縣東葛飾郡中山町大字鬼越ヨリ同郡葛飾町大字山野ニ至ル延長二千四百五十八米ヲ施行ノ豫定ナリシガ其後千葉郡檢見川町大字稻毛ヨリ千葉市登戸間ニ於テ一千三百六十米ヲ追加シ總延長三千八百十八米ヲ施行スルコト、ナレリ

計畫大要

國道七號線ハ中山町ヨリ葛飾町ニ至ル間ハ人家連擔シ幅員七米八ノ砂利道ニシテ輓近重交通激甚ノ爲メ現路面ノ維持漸ク困難ヲ覺ユルニ至レリ
本計畫ニ於テハ概ネ現道路ヲ利用シ幅員擴張ニ依ル家屋移轉ハ努メテ一側ニ限り道路有効幅員ヲ十二米五トシ起點ヨリ約一千七百米ノ區間ハ歩車道ヲ高低分離シ車道八米、歩道兩側各二米二五トセリ
路面構造ハ路床ノ状態ニ應シ車道ハ厚二十糎ノコンクリート又ハ厚六糎ノトベカ式アスファルトコンクリート鋪裝ヲ施シ歩道ハ街路部ニ於テハ厚六糎ノコンクリート或ハアスファルト乳劑鋪裝トシ又歩車道ニ高低區分ナキ歩道ニ車輛ノ乘入ル虞アル箇所ハ厚十二糎ノコンクリート鋪裝ヲ施行セントス
排水設備ハ道路兩側ニ設ケタル側溝ニ依ルモノトシ街路ニ於テハ三十米間隔ニ街渠柵ヲ設ケ排水支管ニ依リ側溝ニ聯絡導水セシメ附近ノ水路ニ排疏セシム

道路縱斷勾配ハ最急五百七十分ノ一ニシテ其延長百二十米最小屈曲半徑百米ナリトス

施工狀況

工事施行ニ關シテハ前年度失業救濟國道改良工事施行ノ爲メ設ケタル事務所ヲ其儘利用シ用地買收實
施設計等施工準備ヲ進メ昭和七年六月一日ヨリ土工々事ヲ開始セリ

盛土量ハ一萬一千三百五立方米ニシテ内三千二百九十立方米ハ切取土砂ニシテ其他ハ附近民有地ヨリ
採取シ人力トロ及自動車ニ依リ之ヲ搬入セリ

側溝ハ道路兩側共幅四十糎ニシテ厚八糎ノコンクリート蓋ヲ設ケ新設三千八百十九米、嵩上三百七十一
米、擁壁ニ添付セシモノ二十米、計四千二百十米ヲ施工シ支道取付箇所ニハ厚十糎ノ鐵筋コンクリート蓋
ヲ取付ケ歩道ノ一部ニ供シ七年十二月二十八日全部竣功セリ

街渠ハ幅五十糎、橫斷勾配十五分ノ一ノ工型トシ延長三千三百二十八米ヲ施工シ約三十米毎ニ長幅深各
三十五糎ノ街渠枳ヲ設置セリ其數百十四箇所ニシテ排水支管(陶管)内徑十五糎ニシテ歩道下ヲ橫斷シ側
溝ニ聯絡ス)ト共ニ何レモ年度内竣功ヲ告ゲ側溝ヲ設ケザル箇所五百八十四米ノ區間ハ路肩ニ上幅十五
糎、下幅二十糎、高二十糎ノ境界コンクリートヲ設置セリ

葛飾町大字本郷及寺内地内ニ於テ在來道路ノ屈曲部ヲ直線ニ改メタル爲メ幅員ニ餘裕ヲ生ジタル箇所
及同本郷地先勝間田池ノ埋立箇所ニ當ル道路中央部ニハ長八十米五ノ植樹帶ヲ設ケ同地ニ沿ヘル歩道
ニハ八米間隔ニ十三箇所ノ植樹根圍ヲ設置シ以テ交通ノ安全ニ資スルト共ニ風致ヲ保タシメタリ
擁壁ハ道路ノ法土留又ハ沿道民地高キ箇所ノ山留トシテ高五十糎乃至一米一ノコンクリート延長五百

六十二米及高一米五乃至三米五ノ鐵筋コンクリート三百九十四米ヲ施シ年度内之ヲ完成セリ

暗渠新設九箇所、繼足十五箇所、計二十四箇所ニシテ何レモ内徑三十糎乃至六十糎ノ鐵筋コンクリート管ヲ用ヒ特ニ葛飾町大字小栗原地先ニ於ケル水面及勝間田池ニ聯絡スル暗渠ニハ水位調節ノ爲メ堰及扉ヲ備ヘ捲揚裝置ヲ設ケタリ

路面舗装ハ施工ニ先立チ地盤軟弱ナル部分ニハ厚五糎ノ敷碎石ヲ用ヒ且十二糎厚ノ基礎コンクリートヲ施シ特ニ不良ノ箇所ハ充分輾壓ヲ加ヘ敷碎石九糎、コンクリート十五糎厚トシ之ニ鐵網ヲ挿入セリ而シテ車道ハ中山地内起點ヨリ百六十米間ニ厚二十糎ノコンクリート舗装、上層碎石コンクリート配合一、一、二厚四糎、下層コンクリート配合一、三、六厚十六糎ヲ施行シ面積一千二百五十二平方米ヲ竣功セシモ其他ノ箇所ハ未竣功ニ終レリ

歩道ハ街路構造ヲ爲ス起點ヨリ四百三十二米間ハ厚六糎ノコンクリート舗装、上層碎石コンクリート配合一、一、二、一糎五、下層コンクリート配合一、三、六、四糎五面積千百六十三平方米ヲ施工シ歩車道ノ高低區分ナキ葛飾町地内延長七百六十米間ハ路面ノ構造上歩道内ニ車輛乘入ル虞アルヲ以テコンクリート厚ヲ下層九糎、上層三糎トシ面積二千二百八十八平方米ヲ施行シ何レモ竣功ヲ告ゲ其他ハ未竣功ノ儘翌年度ヘ繰越トナレリ

本工事ニ使用スベキ労働者豫定延人員ハ六萬二百十六人ニシテ本年度内實際使用セシ人員四萬八千九百五十二人ナリトス

本年度工事竣功高ハ二十五萬三千八百六十八圓ニシテ工費豫算三十萬圓ノ八割五分ニ當ル其工事竣功表左ノ如シ

費目	前年度迄竣功高		本年度竣功高		合計		歩合
	數量	金額	數量	金額	數量	金額	
本工事（道）			一、五五五	一〇八、四八一	一、五五五	一〇八、四八一	〇・四三
雜費				六三〇・一三		六三〇・一三	
用地費			二〇段	四三、九四八	二〇段	四三、九四八	
器具				六三、二四七		六三、二四七	
機械				三、〇〇四		三、〇〇四	
雜費				二七、三八五		二七、三八五	
共濟組合給與金				八九〇		八九〇	
總計				二五三、八六八		二五三、八六八	〇・八五

第五九 國道八號線(府中)改良工事

六年度失業救濟

緒言

本工事ハ昭和六年度失業救濟事業トシテ當初工費豫算四十萬二千九百五十三圓ヲ以テ東京府北多摩郡府中町ヨリ同郡谷保村ニ至ル延長二千米ヲ施行ノ豫定ナリシガ其後南多摩郡小宮村ニ至ル延長六千九十三米ヲ追加シ計八千九十三米トシ工費二十二萬三千圓ヲ増額シテ六十二萬五千九百五十三圓ヲ以テ施行スルコトトナレリ

計畫大要

八號國道ハ東京市ヨリ山梨縣甲府市ニ至ル線路ニシテ府中町ニ至ル迄ハ昭和五年度東京府ニテ現道幅ノ儘鋪裝ヲ終リタルモ夫ヨリ西方ハ南多摩郡日野町地内延長二千百十五米ノ區間十一米ヲ除ク外概ネ六米乃至七米ノ砂利道ニシテ沿道地ハ概シテ宅地竝畑地ナリ路面ハ近時各種自動車竝車馬ノ通行頻繁ヲ加ヘ維持ニ困難ヲ來シ甚シク損傷セラレツツアリ本計畫ニ於テハ府中町京王電車踏切箇所ヨリ谷保村南武鐵道跨線橋西手ニ至ル二千米及追加トシテ谷保村地内延長一千二十二米ヲ有効幅員十五米九乃至十五米トシ且歩車道ヲ區別シ車道九米ヲ膠石鋪裝トス歩道ハ各三米四五ノ砂利敷トシ追加部ハ鋪裝ヲ後日ニ讓リ砂利道トス路面排水ニハ街渠及雨水柵ヲ設ケ兩側民地排水ノ爲メニ污水柵ヲ設ケ各導水管ニ依リテ歩道下ニ埋設セル排水管ニ通ジ附近ノ水路ニ放流セシムルモノトス

日野町地内日野市街東端ヨリ日野橋ニ至ル間及省線架道橋以西二千百十五米ノ間ハ有効幅員十一米ヲ有ス此部ニハ中央ニ幅七米膠石鋪裝ヲ爲スモノトス

日野町西端ノ一部及小宮村ニ至ル高臺上延長二千四百四十三米ハ有効幅員十一米ニ擴張シ歩車道ヲ區別セズ砂利敷トシ路面排水ハ兩側ニ側溝ヲ設ケ内延長三百二十三米間ノ路面ト兩側地面勾配相反スル箇所ハ一旦側溝ニ集メ更ニ排水渠ニ導キ排水スルコトトセリ夫ヨリ以西小宮村地内八高南線架線橋ヨリ西方延長五百十三米間ハ八王子市都市計畫ノ決定ニ準據シ有効幅員二十二米トシ土工及砂利敷ノミニ止メタリ

縦斷勾配ノ最急ハ小宮村地内終端箇所延長三百十一米間三十分ノ一トシ最小ハ西府村地内延長百五十五米間ノ四百分ノ一ニシテ最小屈曲半徑ハ日野町地内ノ百五十米ナリ
橋梁ハ跨線橋西府橋ノ高欄ヲ鐵筋コンクリートニ改築スルモノトス

施工狀況

工事施行ニ當リテハ昭和六年四月十一日府中町字片町ニ假事務所ヲ設ケ用地買收障害物移轉ニ關スル調査竝ニ器具機械ノ搬入等諸般ノ準備ニ努メ同月二十四日府中町字兩久保ニ設ケタル新事務所ニ移轉シ六月一日ヨリ工事ニ著手セリ

施行區域ハ之ヲ四工區ニ分ケ各區ニ見張所ヲ置キ先ヅ前年度ヨリ繰越ニ係ル谷保、小宮兩村地内ニ於ケル土砂掘鑿ニ著手シ功程一千百五十一立方米ヲ舉ゲ全部民有地ニ捨土處分セリ

路床ハ谷保村地内車道九千三百九十三平方米、歩道五千九百四十四平方米ニローラーヲ輾壓ヲ施シ車道ハ徑九

種以下ノ玉石及六種以下ノ砂利各厚十種ニ歩道ハ徑二種四以下ノ砂利厚七種ニ敷均シ六月十五日迄ニ全部竣功セリ

排水設備ノ内街渠ハコンクリート造ニシテコンクリートブロックノ縁石ヲ置キ谷保村地内ニ於テ前年度未了ノ延長四百七十五米及兩水榭十箇所ヲ施行シ排水管ハ内徑四十五種乃至三十八種ノ鐵筋コンクリート管ニシテ同村内ニ於テ延長百六十米、人孔榭九箇所、汚水榭十三箇所ヲ施行シ何レモ七年六月六日竣功セリ

其他擁壁、暗渠及側溝補修等ヲ施行シ六月十五日ヲ以テ全部竣功ヲ告グルニ至レリ
本年度使役セル勞働者ハ一萬八百六十七人ニシテ工事竣功表左ノ如シ

費目	前年度迄竣功高		本年度竣功高		合計	
	數量	金額	數量	金額	數量	金額
本道	11,000米	11,000,000円	11,000米	11,000,000円	22,000米	22,000,000円
工事橋	1箇所	1,000,000円	1箇所	1,000,000円	2箇所	2,000,000円
費雜	1,000	1,000,000	1,000	1,000,000	2,000	2,000,000
用地費	1,000	1,000,000	1,000	1,000,000	2,000	2,000,000
器具	1,000	1,000,000	1,000	1,000,000	2,000	2,000,000
雜費	1,000	1,000,000	1,000	1,000,000	2,000	2,000,000
共濟組合給與金	1,000	1,000,000	1,000	1,000,000	2,000	2,000,000
總計	11,000	11,000,000	11,000	11,000,000	22,000	22,000,000

第六〇 國道八號線(府中)改良工事

産業開發

緒言

昭和六年度失業救濟事業トシテ施行シタル國道八號線(府中)改良工事ニテハ東京府北多摩郡府中町ヨリ南多摩郡小宮村ニ至ル間ニ於テ延長八千九十三米ヲ施行セシガ本工事ニ於テハ昭和七年度産業開發事業トシテ工費五十二萬六千圓ヲ以テ施工區域ヲ前記區間内ニ於テ北多摩郡谷保村ヨリ同郡立川町ニ至ル延長二千五百八十七米及南多摩郡日野町及小宮村地内延長七百六十九米ヲ追加シ施行スルコト、セリ

計畫大要

昭和六年度失業救濟事業國道八號線(府中)改良工事計畫ニ準ズルモノトス

施工狀況

工事施行ニ關シテハ府中町ニ設ケタル改良事務所統轄ノ下ニ谷保、北原、日野、小宮ノ四見張所ヲ置キ各分擔施行セリ

土工々事ハ谷保、日野、小宮各町村地内ニ於ケル掘鑿ニシテ總土量二萬二千五十立方米ニ達シ内二千六百二十三立方米ハ盛土箇所へ搬入シ殘土ハ民地又ハ府縣道ニ捨土セリ

路面ハ谷保村、立川町間及日野町、小宮村各地内車道ニ於テローラー輾壓ヲ施シ總面積五萬三千四百九十二平方米ヲ竣功セシメ引續キ谷保、日野各地内ニ於テ路面境界コンクリートヲ築造シ歩道及支道取付總面積一萬三千九十八平方米ノ地均ヲ行ヒタル上厚十糎ニ砂利敷ヲ施行シ年度内全部竣功セリ

排水工ハ谷保村、立川町及日野町、小宮村各地内延長四千三百九米ニ内徑四十五糎乃至三十八糎ノ鐵筋コンクリート排水管及排水支管延長四百五十八米、人孔九十四箇所ヲ施行シ年度内全部竣功スルヲ得タリ

側溝ハ幅五十糎、深八十糎乃至五十糎ニシテ基礎ハ玉石根固ニ依リ日野町地内及小宮村ノ一部ニ施行シ延長二千四百三十米ヲ竣功セシメ支道取付箇所ニハ鐵筋コンクリート厚十二糎ノ蓋ヲ使用セリ

街渠ハコンクリート造ニシテコンクリートブロックノ縁石ヲ置キ谷保村、立川町間及日野町地内並ニ小宮村地内ノ一部ニ於テ兩側延長八千七百四十七米ヲ施行シ同柵二百一十一箇所ヲ設置セリ

車道鋪裝ハ谷保村、立川町間、日野町地内及小宮村地内ニ於テ各所定ノ二層式鋪裝ヲ施工セリ其總面積五萬三千三百三十五平方米ニシテ横斷勾配五十分ノ一拋物線トシ中央及延長十米乃至八米毎ニ目地トシテ各厚十二糎ノエラストヲ挿入セリ

歩道ハ谷保村、立川町間及日野町地内ニ所定ノ鋪裝ヲ施シアスファルト乳劑鋪裝面積五千百十五平方米アスファルト滲透煉瓦鋪裝面積四千八十八平方米及コンクリート平板鋪裝面積九百二十二平方米ヲ施工シタル外砂利敷面積一萬三千八十平方米ヲ完了セリ

橋梁ハ谷保村地先水路ニ架設セル舊矢川橋ヲ取除キ新ニ鐵筋コンクリート橋ヲ架設スルモノニシテ七年十一月一日基礎工事ニ著手シ年度内竣功セリ

斯クテ見張小屋取壞運搬、土運搬用軌條取除其他跡片付ヲ繰越シタル外全部竣功セリ

本工事ニ使役セル勞働者八萬七千六百八十六人ニシテ其工事竣功表左ノ如シ

費目	前年度迄竣功高		本年度竣功高		合計		竣功歩合
	數量	金額	數量	金額	數量	金額	
本道			3,333.33 米	1,111.11 円	3,333.33 米	1,111.11 円	100
工橋			1 箇	11,111.11 円	1 箇	11,111.11 円	100
事橋							
費雜							
用地費			20 段	20,000.00 円	20 段	20,000.00 円	100
器具							
機械							
雜費							
共濟組合給與金							
總計					3,333.33 米	33,222.22 円	100

第六一 國道八號線(府中)改良工事

農村振興

緒言

本工事ハ昭和七年度ニ於テ農村振興事業トシテ工費十三萬圓ヲ以テ東京府南多摩郡小宮村字大和田地内ニ於ケル昭和七年度産業開發事業トシテ施行セル府中國道終點ヨリ八王子寄同村大和田橋ニ至ル延長六百三十八米ヲ施行スルモノトス

計畫大要

現在道路ハ其幅員七米内外ノ砂利道ニシテ近時八號國道ノ改良完成ニ近ヅクト共ニ八王子市ニ隣接セル爲メ自動車ノ交通頻繁ヲ極メ路面ノ損傷セララルコト尠カナラズ加フルニ其路線ハ屈曲シ一般交通ノ危険亦少ナカラザルナリ

本計畫ニ於テハ八王子市都市計畫ノ決定ニ準據シ有效幅員ヲ二十二米トシ歩車道ヲ區別シ車道ハ中央幅十三米六ニ碎石コンクリート鋪裝ヲ施シ歩道ハ兩側共幅員三米七ニシテ砂利敷トス

歩車道境界ニハ街渠ヲ設ケ適當ノ間隔ニ雨水榭及兩側民地排水ノ爲メニ汚水榭ヲ設ケ各導水管ニ依リ歩道下ニ埋設スル排水管ニ聯絡セシメ附近ノ水路ニ放流セシムルモノトス

縱斷勾配ハ最急三十分ノ一其延長四十六米、最緩ハ四百分ノ一延長二百五十五米ニシテ最小屈曲半徑ハ五十米ナリトス

施工狀況

工事施行ニ關シテハ府中國道改良事務所統轄ノ下ニ大和田地内ニ見張所ヲ設ケ昭和七年十一月一日ヨリ土工工事ニ著手セリ土運搬ニハ六庇軌條延長一千四百五十九米及零立方米六積土運車百三十臺ヲ用ヒ土砂二萬二千七百二十八立方米ヲ盛土箇所へ搬入セリ其内一千八百五十立方米ハ切取土ニシテ其他ハ附近廢道ヨリ掘鑿使用セリ

路床ハ其面積八千九百五十六平方米ニシテ地均ヲ行ヒローラーヲ以テ充分ニ輾壓ヲ加ヘタル後歩車道及取付支道面積五千三百五十二平方米ニ厚十糎ノ砂利敷ヲ施シ次デ兩側延長一千二百三十八米ニ路面境界コンクリート工ヲ施行シ年度内全部竣功セリ

暗渠ハ何レモ鐵筋コンクリートニシテ内徑九十糎乃至三十八糎長二十四米乃至三十米ノモノ三箇所内法高一米幅二米長二十二米ノモノ一箇所高二米幅三米五三、徑間二米長三十九米八ノモノ一箇所計五箇所ニシテ基礎ハ何レモ玉石根固ノ上ニ厚五十糎乃至二十糎ノコンクリート工ヲ施シ兩端ニハ鐵筋コンクリート翼壁ヲ設ケ在來水路ノ護岸ニハ玉石練積ノ擁壁ヲ築造シ十一月一日ヨリ著手シ何レモ年度内竣功セリ

街渠ハ兩側延長一千百五十二米ニ施工シ二十二米乃至五十四米間隔ニ同柵三十二箇所ヲ設ケ步道下ニハ内徑三十八糎乃至六十糎ノ鐵筋コンクリート管延長八百八十一米ヲ埋設シ外ニ排水支管及雨水柵等ヲ併セ全部竣功セリ

車道鋪裝ハ幅十三米六面積八千九百五十六平方米ニ所定ノ二層式ヲ施工シ大和田橋寄四十七米六ノ街

渠ヲ設ケザル部分ニハ鋪裝ノ兩端ニ鋪裝境界コンクリートヲ敷設シ横斷勾配ハ五十分ノ一ノ拋物線トシ中央及左右三米四ノ箇所竝ニ延長十米毎ニ目地トシテ各厚十二耗ノエラストイトヲ挿入シ年度内全部ヲ竣功セリ

本工事ニ使用シタル勞働者三萬三千三百五十三人ニシテ工事竣功表左ノ如シ

費目	前年度迄竣功高		本年度竣功高		合計		歩合
	數量	金額	數量	金額	數量	金額	
本工事費一道路				22,411.00		22,411.00	100%
用地費			3.8米	3,411.00	3.8米	3,411.00	
土地買収			二段	3,411.00	二段	3,411.00	
物件移轉、補償				11,311.00		11,311.00	
器具機械費				110.00		110.00	
雜費				5,738.00		5,738.00	
共済組合給與金				5.00		5.00	
總計				30,575.00		30,575.00	100%

第六二 國道八號線(淺川)改良工事

産業開發

緒言

本工事ハ東京府南多摩郡淺川町大字上柵田字坊ヶ谷戸ヨリ同郡同町大字上柵田字大平(神奈川縣界ニ至ル)延長五千六百二十四米九ヲ改良セントスルモノニシテ昭和七年度産業開發事業トシテ施行ノ神奈川縣管內國道八號線(與瀬)改良工事起點ニ聯絡ス而シテ昭和七年九月工費十六萬圓ヲ以テ起工シタルモ工費不足ニシテ充分ナル改良ヲ施スコト能ハザルヲ以テ其後六萬圓ヲ増額シ總工費ヲ二十二萬圓ト爲セリ

計畫大要

現在道路ハ有効幅員四米乃至五米ノ砂利道ニシテ屈曲甚シク又道路ニ沿フ案内川ノ護岸石垣ノ崩壞箇所多々アリ加フルニ橋梁腐朽セルヲ以テ之ガ改良ハ一日モ忽緒ニスル能ハザルノ現況ナリ
本改良工事ハ其狹隘ナル幅員ト甚シキ屈曲部ノ半徑トヲ増大シ又一部新道ノ開鑿ヲ行ヒ以テ見透ヲ良好ナラシムルト共ニ橋梁ノ架設案内川護岸ノ改修其他側溝ノ整理等ヲ爲サントス而シテ縱斷勾配ニ於テハ大平地内ニ於テ在來十三分ノ一ヲ有スルアルモ本箇所ハ高尾山系山陵ノ間ニ在リ之ガ改良ハ多額ノ工費ヲ要スルヲ以テ在來ノ儘ニ止メタルモ其他ノ區間ハ工費ノ許ス限リ縱斷勾配ノ緩和ニ努メタリ
道路有効幅員六米、砂利敷トシ切取箇所ニハ混凝土縁石ヲ有スル空堀側溝ヲ設ク而シテ最急縱斷勾配十

三分ノ一ノモノ二百四十米アリ又最緩縱斷勾配三百分ノ一、最小屈曲半徑三十七米ナリ
橋梁ハ有効幅員六米、橋長五米三乃至十一米六、丁型鐵筋混凝土桁橋十六橋ヲ架設ス

施工狀況

土工工事ハ切取土量四萬七千七百三十九立方米、盛土量二萬一千六百六十五立方米ヲ竣功シ過剩土量二萬六千五百七十三立方米ハ之ヲ附近民有地ニ捨土セリ其他芝付面積一萬三千九百九十平方米ヲ竣功セリ是等ニ要セシ工費ハ五萬六千三百二十一圓ニシテ一部ヲ翌年度ニ繰越シタリ

擁壁工事ハ練積石垣二千七百二十四平方米、空積石垣五百六十平方米、計三千二百八十四平方米ヲ施行シ工費二萬五千八百八十五圓ヲ以テ竣功セリ

溝橋工事ハ鐵筋混凝土函型暗渠九箇所、鐵筋混凝土管暗渠十八箇所ヲ施行シ工費三千七百四十九圓ヲ以テ竣功セリ

側溝工事ハ混凝土L字型側溝五千九米二、U字型無蓋ノモノ二百十八米二、同有蓋ノモノ百十四米六、計五千四百四十二米八、外ニ溜柵九箇所ヲ施行シ工費一萬一千六百三圓ヲ以テ竣功セリ

橋梁工事ハ鐵筋混凝土丁型桁橋十六橋延長百四十六米全部ノ竣功ヲ告ゲ工費四萬六千三百三十八圓ヲ要セリ

土地買收トシテハ五十五件、二萬一千二百六十三平方米ノ買收費二萬三百十五圓ノ内本年度ニ於テ一萬九千九圓ヲ支拂ヘリ

物件移轉其他補償トシテ地上物件、移轉五十三件、東京遞信局及警視廳電柱各一件、陸地測量部水準基標一

件計五十六件、移轉補償費一萬一千四百十五圓ノ内五十五件分一萬七百三圓ヲ支拂ヘリ
 本年度竣功高ハ十九萬七千五百五圓ニシテ總工費二十二萬圓ニ對シ九割ノ竣功ナリ而シテ之ニ使用セ
 ル勞働者延人員ハ六萬八千五百八十四人ニシテ勞力費九萬一千七十六圓ヲ支出セリ其工事竣功表左ノ
 如シ

費目	前年度迄竣功高		本年度竣功高		合		竣功歩合
	數量	金額	數量	金額	數量	金額	
本道							0.0%
工事							100%
橋							
費雜							
用地費							
土地買収							
物件移轉、補償							
器具機械費							
雜費							
共濟組合給與金							
總計							0.0%

第六三 國道八號線(與瀨)改良工事

産業開發

緒言

本工事ハ昭和七年度ニ於ケル産業開發事業トシテ神奈川縣津久井郡千木良村字尾花山ヨリ同郡小淵村大字中小淵ニ至ル區間即チ甲州街道ノ内東京府界ヨリ山梨縣界ニ至ル神奈川縣管内ノ全區間延長一萬五千七百六十五米ヲ工費五十三萬三千圓ヲ以テ改良スルモノナリ

計畫大要

本改良區間ハ東京府界小佛山系ノ山嶺中ニ起リ千木良村地内大垂水ノ嶮地ヲ下リ小原町與瀨町吉野町、小淵村等神奈川縣ノ北端ヲ經テ山梨縣ニ及ブ而シテ今道路ノ現況ヲ見ルニ東京府界ヨリ千木良村赤馬ノ平坦部ニ至ル大垂水ノ嶮地ハ高低差二百米ニシテ最急勾配八分ノ一、平均十分ノ一ニ達シ屈曲半徑八米以下ノ所多ク而モ最急勾配ト最小屈曲半徑ト相重リテ最惡ノ狀態ニ在リ之ヲ改良セントスルモ短距離ニ於テ高低差ヲ下ル現在道路ヲ以テシテハ勾配ヲ緩和シ線形ヲ改良スルコト不可能ナリ依テ其西北ニ當ル山腹ニ新路線ヲ選定ス此新路線ハ延長四千百十六米五東南ニ向ヒ日當リ良ク竣功後ニ於テモ路面維持容易ナルノミナラズ景色亦最モ佳シ而シテ新路線ヲ除ク改良區間一萬一千六百四十八米五ノ局部的改良ヲ施スモノニシテ即チ屈曲半徑十米以下ニシテ見透シ困難ナル箇所ヲ選ビ其半徑ヲ最小二十米ニ改良セントス又吉野町地内ニ在ル新猿橋ハ腐朽甚シク爲メニ自動車積載量ノ制限ヲ行ヒツツアル

ノ状態ナルヲ以テ新ニ現位置ヨリ二百五十餘米下流吉野町端ニ鋼拱橋ヲ架設シ之ヲ吉野橋ト稱ス
道路有効幅員六米砂利敷トシ切取箇所ニハ混凝土縁石ヲ有スル空堀側溝ヲ設ク最急縱斷勾配ハ新設箇
所十五分ノ一トシ最小屈曲半徑ノ箇所ハ三十分ノ一トス
吉野橋ハ橋長九十五米三、有効幅員六米五ノ鋼拱橋トス

施工狀況

本工事ハ昭和七年七月著手シ土工工事ハ切取土量十五萬六千二百五十四立方米、盛土量十三萬二千七百
八十五立方米ヲ竣功シ工費十萬三千四百七十五圓ヲ要シ一部ヲ翌年度ニ繰越シタリ

擁壁工事ハ七千七百十九平方米ヲ施行シ工費十一萬二千十六圓ヲ要シ一部ヲ翌年度ニ繰越シタリ

溝橋工事ハ鐵筋混凝土拱渠二箇所之ガ延長九十七米、同函型暗渠一箇所、延長十一米、同管暗渠四箇所、延長
百二十米六、計二百二十八米六ヲ施行シ工費一萬七千百一十一圓ヲ要シ殘餘約百八十七米ハ翌年度ニ繰越
シタリ

側溝工事ハ混凝土側溝一千十七米八ヲ施行シ工費二千百三十一圓ヲ要シ殘餘四千三百四十米ハ翌年度
ニ繰越シタリ

吉野橋架橋工事ハ上部構造ノ一部ヲ殘セルノミニシテ約九割六分ヲ竣功シ工費七萬五千五百四十六圓
ヲ要セリ

土地買收トシテハ八十九件、十萬三千三百二平方米ヲ買收シ之ガ買收費二萬八千九百九圓ノ内二萬五千百
九十圓ヲ支拂ヘリ又物件移轉補償トシテハ地上物件移轉百二件、東京遞信局、東京電燈株式會社電柱移轉

各一件及陸地測量部水準基標移設一件、合計百五件之ガ移轉補償費一萬七千二百二圓ノ内一萬七千百六十九圓ヲ支拂ヘリ

本年度竣功高ハ四十一萬一千三百二十八圓ニシテ總工費五十三萬三千圓ニ對シ七割七分ノ竣功ニ當ル而シテ之ニ使用セル勞働者延人員ハ十六萬三千五百十九人ニシテ勞力費十六萬一千五百五十六圓ヲ支出セリ左ニ工事竣功表ヲ示ス

費目	前年度迄竣功高		本年度竣功高		合計	
	數量	金額	數量	金額	數量	金額
本道						
工事						
橋						
費雜						
用地費						
土地買收			三	〇、一七〇	三	〇、一七〇
物件移轉、補償				一、七二九		一、七二九
器具機械費				九、〇〇〇		九、〇〇〇
雜費				九、〇〇〇		九、〇〇〇
共濟組合給與金				三、〇〇〇		三、〇〇〇
總計				二、〇〇〇、〇〇〇		二、〇〇〇、〇〇〇
歩						
竣功						
合計						〇、〇〇〇

第六四 國道八號線(猿橋)改良工事

産業開發

緒言

本工事ハ産業振興ヲ目的トスル昭和七年度工事ニシテ當初工費豫算二十萬圓ヲ以テ山梨縣北都留郡富濱村ヨリ同郡廣里村ニ至ル間ニ於テ延長二千四百八十一米ヲ施行ノ豫定ナリシガ其後工費三萬圓ヲ増額シ合計二十三萬圓ヲ以テ施行スルコト、ナレリ

計畫大要

本改良區間ノ現道ハ其起點附近ニ於テ鐵道中央本線竝ニ東京電燈發電水路ト桂川左岸溪谷ニ沿ヘル狹隘ナル地域ノ間ニ錯交シ名勝猿橋ノ前後ニ至リテハ屈曲殊ニ多ク且急勾配ヲ交ヘ以下大原村ヲ經テ終點ニ至ル間ハ概ネ桂川右岸ニ沿ヒ幅員狹少ニシテ廣里村地内ニハ鐵道踏切ヲ存シ交通頗ル危險ナリトス

本計畫ニ於テハ完全ナル線形ノ改良ハ勢ヒ多額ノ工費ヲ要スルニ依リ交通上著シキ障害ハ之ヲ除キ其他ハ現道ヲ利用スルコト、シ猿橋及其附近ハ名勝保存物ニ指定セラレ且人家稍連擔セルヲ以テ之ニ觸ル、コトナク稍上流ニ架橋地點ヲ撰ビ併セテ樹木伐採等ハ之ヲ避ケ風致ヲ損ハザルニ努メ現在鐵道踏切前後ハ現道ヲ利用スルコト困難ナルヲ以テ大原村字殿上組地内ニ於テ現道ニ分岐シ左手側ニ新道路ヲ開設シ鐵道線路竝ニ東京電燈會社水壓鐵管ハ孰レモ跨線橋ニヨリ横斷シ鐵道線路ニ併行西進シ廣

里村字駒橋地先ニ於テ再ビ現道ト聯絡ス

有効幅員ハ六米ニシテ猿橋市街地ニ限リ七米トシ歩車道ヲ區別セズ道路横斷勾配ハ鋪裝面ヲ五十分ノ一、砂利道ヲ二十分ノ一トス縱斷最急勾配ハ二十分ノ一ニシテ最小曲線半徑十米ナリ盛土法勾配ハ一割二分、切取法ハ一割乃至一割五分トシ土質地形ヲ斟酌シ割石又ハ玉石コンクリート練積又ハ空積ヲ交ヘ其安定ヲ期セリ

路面ハ新猿橋ノ前後二百六十一米ハ下層コンクリート配合一、三、六厚七糎トシ同橋以東百二十二米ハ上層厚五糎ノ碎石疊整同橋以西百三十九米ハ上層コンクリート配合一、一、五、三厚五糎ノ鋪裝ヲ施シ其他ハ凡テ砂利敷トス

河川、溪流、水路等ノ横斷箇所ニハ鐵筋コンクリート床版橋二箇所、鋼拱橋一箇所、工型鋼桁橋一箇所、鋼桁橋一箇所、計五箇所ノ橋梁架設及鐵筋コンクリート函型暗渠八箇所並ニ鐵筋コンクリート管敷設二十箇所ナリトス

施工狀況

工事施行ニ關シテハ昭和七年六月二十七日大原村ニ改良事務所ヲ設ケ直ニ實施設計測量其他諸調査ヲ行ヒ其間器具機械ノ整備等施行準備ニ著手セリ其施行區域ハ之ヲ二工區ニ分チ各見張所ヲ設ケ用地買收協議ノ進行ニ伴ヒ九月一日大原村、廣里村間ニ同月二十一日富濱村、大原村間ニ各土工々事ヲ開始シ次デ十月六日ヨリ大原村内ノ土工々事ニ著手セリ而シテ擁壁、側溝溝渠路面及橋梁等ノ諸工事ハ土工ノ進捗ニ伴ヒ逐次全線ニ及ボン銳意進工ニ努メシガ長期ノ降雨等ニ妨ゲラレ工程八步通ニシテ其餘ハ翌年

度へ繰越トナレリ

土工々事ハ何レモ人カヲ以テ土砂ヲ掘鑿シ六庇輕便軌條及零立方米六積土運車ヲ用ヒ線路ノ狀況及地形土質等ヲ斟酌シ二人乃至三人押トシ短距離ハ畚運搬トセリ而シテ掘鑿ニ際シ岩石部ハ火藥爆破ヲ行ヒ且小割トシ運搬ニ便ナラシメ良材ハ之ヲ築石ニ利用セリ斯クテ運搬セル總土量ハ二萬三百五十七立方米ニ及ベリ

擁壁ハ切取盛土箇所ノ土抱又ハ切盛法ノ一部ニ其直高地形ニ應ジ練石積又ハ空石積ヲ交へ施工セリ築石ハ一個十五庇内外ノ雜割或ハ玉石ヲ使用シ練石積二千九十八平方米、空石積二百六十平方米ヲ竣功セシメ其他ハ翌年度へ繰越トナレリ

溝渠ハ水路ノ廣狹ニ依リ函型暗渠又ハ管理設トシ暗渠側壁ハコンクリート配合一、三、六練石積ヲ用ヒ床版ハ鐵筋コンクリート配合一、二、四トスコンクリート管ハ内徑四十五糎、三十糎、十五糎ノ三種ニシテ長六十糎トシ孰レモ現場ニ於テ製作使用セリ

路面ハ土工々事ノ進捗ニ伴ヒ施行シ敷砂利ハ下敷トシテ徑七糎以下ヲ厚八糎ニ敷均シローラー輾壓ヲ施シ更ニ上敷トシテ徑三糎以下ヲ厚七糎ニ敷均シ再ローラー輾壓ヲ行ヒ富濱村起點ヨリ大原村ニ至ル延長六百三十六米ニ於テ面積三千八百十六平方米ヲ施行シ其他ハ翌年度へ繰越トナレリ
鋪裝ハ新猿橋前後二百六十一米ニ於テ所定ノ二層式ヲ施行セシモ長期ノ降雨ニ妨ゲラレ其大半ハ翌年度へ繰越トナレリ

橋梁ハ五箇所ニシテ大富、清水ノ二小橋竣功シ其他ハ未竣功ニ終レリ内主ナルモノハ新猿橋及殿上橋ナリトス

第六五 國道八號線(河口)改良工事

六年度失業救濟

緒言

本工事ハ昭和六年度失業救濟事業トシテ當初工費豫算十六萬五千四百四十五圓ヲ以テ山梨縣南都留郡船津村ヨリ同郡河口村ニ至ル延長四千九百二十米ヲ施行スル豫定ナリシガ其後一萬一千七百五十圓ヲ減額シテ十五萬三千三百九十五圓ヲ以テ施行スルコト、セリ

計畫大要

本國道中所謂御坂峠ノ嶮崖ハ曩ニ山梨縣ニ於テ隧道開鑿及其前後山道ノ改鑿トヲ併セテ實施セルヲ以テ本改良工事ハ其南麓ナル南都留郡船津村字大久保ヨリ同郡河口村字庖橋地先前記開鑿道路ニ至ル延長四千九百二十米ノ區間ナリトス

本改良區間ハ概ネ河口湖畔ニ連レル山麓ニ沿ヒ小曲崎及産屋ヶ崎ヲ迂回シ幅員僅ニ三米四ニシテ紆餘屈曲甚シキヲ以テ改良計畫ニ於テハ大體現道ヲ利用シ河口湖畔ニ沿ヒ屈曲ヲ緩和シ小曲崎ト産屋ヶ崎ノ突出部ハ之ヲ隧道ニ改ムルコト、シタリ

改良道路ノ總延長ハ四千九百二十米、内橋梁八箇所延長二十六米五八、隧道二箇所延長七十三米ニシテ有効幅員六米、橫斷勾配二十分ノ一、縱斷最急勾配三十分ノ一、長百六十米、最小屈曲半徑三十米、延長二十八米ナリ、盛土法勾配ハ最小一割、最大三割以上切取法ハ一割乃至一割二分トシ、岩石切取箇所ハ岩質ニ依リ二

分乃至六分トシ尙岩質又ハ土質ヲ斟酌シ割石又ハ玉石コンクリート練積或ハ空石積擁壁ヲ設クルコト
 、セリ河口湖水面ニ接スル箇所ニハ波浪ニ備フル爲メ割石コンクリート練積擁壁ヲ施シ其他路側ノ右
 積ハ頂部表面幅五十糎厚三十糎ノ玉石入コンクリートヲ加ヘ積石ノ轉落ヲ防グコト、セリ
 路面ハ隧道内其前後一部ヲコンクリート鋪裝ト爲スノ外ハ凡テ砂利道トシ步車道ノ區別ヲ設ケズ水路
 横斷箇所ニハ廣狹ニ依リ鐵筋コンクリート丁型橋一、同床版橋六、拱橋繼足一計八橋ニシテ其他鐵筋コン
 クリート函型渠四箇所、鐵筋コンクリート管敷設二十一箇所ニシテ内徑四十五糎五箇所、内徑三十糎十六
 箇所等ヲ施設スルコト、セリ

施工狀況

本工事ハ前年度内ニ殆ド竣功シ本年度ニハ單ニ跡片付ヲ行ヒタルニ過ギズ其工事竣功表左ノ如シ

費目	前年度迄竣功高		本年度迄竣功高		合計		竣功歩合
	數量	金額	數量	金額	數量	金額	
道路	4,682.10 米	68,210.00 円	0.00	0.00	4,682.10	68,210.00	100.0
橋梁	1.00 箇所	101.00 円	0.00	0.00	1.00	101.00	100.0
隧道	2.00 米	140.00 円	0.00	0.00	2.00	140.00	100.0
工事費	5.00 段	14,110.00 円	0.00	0.00	5.00	14,110.00	100.0
土地買収	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.0
物件移轉、補償	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.0
用地費	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.0
器具機械費	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.0
合計							

總計	雜費	共濟組合給與金
141,112	14,401	126,711
171,100	1,384	169,716
140,312	14,400	125,912
1,000		

第六六 國道八號線(黑駒)改良工事

六年度失業救濟

緒言

本工事ハ昭和六年度失業救濟事業トシテ當初工費豫算十二萬八百五十五圓ヲ以テ施行ノ豫定ナリシガ其後一萬一千七百五十圓ヲ増額シテ十三萬二千六百五圓ヲ以テ施行スルコト、ナレリ
本國道中ノ難所タル御坂峠ノ峻崖ハ曩ニ山梨縣ニ於テ隧道開鑿及其前後道路ノ改鑿トヲ併セ實施セルヲ以テ本改良工事ハ其北麓ナル東八代郡黑駒村大字上黑駒字細野ノ十郎橋ヲ起點トシ同郡金生村大字栗合字平塚ニ至ル延長五千五百五十九米ノ區間ナリトス

計畫大要

本區間ハ曩ニ山梨縣ニ於テ開設セシ國道ニ接續シ釋ケ岳連山ノ北麓野ニ位シ地勢急峻ナリ隨テ現道ハ曲折多ク加フルニ幅員極メテ狹小ニシテ沿道ハ人家稍連擔セルモノアルヲ以テ之ヲ利用シ能ハザルヲ以テ全ク現道ヲ避ケ稍竝行ニ西側ニ新ニ路線ヲ撰定シタリ
改良道路ハ總延長五千五百五十九米(橋梁五箇所、延長二十四米九九ヲ含ム)有効幅員五米五、橫斷勾配二十分ノ一、縱斷最急勾配十五分ノ一、長二百六十米、最小屈曲半徑百五十米、延長八十六米、總平均勾配二十分ノ一ナリトス盛土法勾配ハ一割二分、切取法ハ一割乃至一割二分トシ土質地形ヲ斟酌シ割石又ハ玉石コンクリート練積又ハ空積ヲ交ヘ土抱ト爲スモノトス

路面ハ總テ砂利道トシ歩車道ノ區別ヲ設ケズ水路横斷ノ箇所ニハ其廣狹ニ依リ鐵筋コンクリート丁型橋一箇所、同床版橋四箇所、計五箇所、函形渠十五箇所、鐵筋コンクリート管敷設六十二箇所ニシテ内徑四十五糎管四箇所、内徑三十糎管三十四箇所、内徑十五糎管二十四箇所等ヲ敷設スルコト、セリ

施工狀況

本工事ハ前年度内ニ殆ド竣功シ本年度ニハ單ニ跡片付ヲ行ヒタルニ過ギズ其工事竣功表左ノ如シ

費目	前年度迄竣功高		本年度竣功高		合計		歩竣功合
	數量	金額	數量	金額	數量	金額	
本道	米 5,111	10,610.00	米 1	10.00	米 5,112	10,620.00	1.00
工事橋	箇所 5	8,600.00	箇所 1	1,000.00	箇所 6	9,600.00	1.00
費雜	段 5	11,000.00	段 1	300.00	段 6	11,300.00	1.00
用地費	土地買收	33,500.00	土地買收	300.00	土地買收	33,800.00	1.00
器	物件移轉、補償	1,000.00	物件移轉、補償	1,000.00	物件移轉、補償	2,000.00	1.00
具	機械費	1,000.00	機械費	1,000.00	機械費	2,000.00	1.00
雜費	雜費	1,000.00	雜費	1,000.00	雜費	2,000.00	1.00
共濟組合給與金	共濟組合給與金	1,000.00	共濟組合給與金	1,000.00	共濟組合給與金	2,000.00	1.00
總計	1	110,620.00	1	10,620.00	2	121,240.00	1.00

第六七 國道九號線(志村)改良工事

六年度失業救濟

緒言

本工事ハ昭和六年度失業救濟事業トシテ當初工費豫算六十萬六千四十五圓ヲ以テ東京市板橋區志村町ヨリ同區志村本蓮沼町ニ至ル延長約二千米ヲ施行ノ豫定ナリシガ其後施行區域ヲ追加延長シ同區志村蓮根町地先荒川右岸堤ニ至ル總延長約二千五百七十米(志村橋延長五十八米七ヲ含ム)ヲ施行スルコトトナレリ

計畫大要

本國道ハ舊中山道(木曾路トモ云フ)ト稱シ帝都ヨリ大宮、高崎ヲ經テ前橋ニ達スル路線ナリトス改良工事ヲ施行セントスル志村町地内ハ幅員概ネ七米ニ過ギズ計畫起點ヨリ約四百米間ハ勾配二十五分ノ一ノ坂路ニシテ荒川堤内低地ニ下リ其他ハ概シテ平坦ナレドモ兩側ハ殆ド水田ニ接シ屈曲多ク新河岸川ヲ經テ荒川筋戸田橋右岸ニ至ル區間ナリトス計畫道路ノ中心線ハ都市計畫委員會ニ於ケル決定線ニ據リ概ネ直線ニシテ最小屈曲半徑百二十米、有効幅員二十五米歩車道ヲ區別シ中央部十六米六ヲ車道、兩側各四米ニテ歩道トス縱斷勾配ハ二百分ノ一乃至五百分ノ一ニシテ最急勾配ハ三十分ノ一其延長五百八十七米ナリ横斷面ハ車道ニ於テハ勾配五十分ノ一(但シ坂路部ハ六十分ノ一)ノ双曲線トシ歩道ニ於テハ勾配四十分ノ一ノ直線トス

路面排水ハ車道兩側ノ街渠ヨリ街渠内約四十米毎ニ設置セル雨水楯ニ集メ夫ヨリ歩道中央ニ埋設セル排水管ニ導キ附近ノ溝渠ニ放流スルモノトス

車道ノ構造ハ路盤ニ先ヅ厚約十五糎ノ砂利ヲ敷均シ充分輾壓後厚十五糎ノ一、三、六配合ノ基礎コンクリト（路盤軟弱ナル箇所ニハ鐵網ヲ挿入ス）ヲ打テ其上ニ厚五糎ノトベカ式アスファルトコンクリトヲ鋪設スルモノトス

歩道ハ其中央部ニ方三十六糎厚六糎ノコンクリート平板三枚ヲ竝列鋪設シ其兩側ハ厚五糎ノ砂利敷トス尙歩道ニハ約八米間隔ニ街路樹根圍用ブロックヲ設置セントス

路線ヲ横斷スル小水路ハ五箇所ニシテ凡テ函渠ヲ新設又ハ改築シ新河岸川ニハ長五十八米七、有効幅員二十五米ノゲルバー式鋼板桁橋ヲ架設スルコトトセリ中央徑間二十三米、兩側徑間各十七米ナリトス

施工狀況

工事施行ニ當リテハ昭和六年四月十一日東京市板橋區志村町小學校分教場ニ假事務所ヲ設置スルト同時ニ見張所ノ建設及實施設計測量竝ニ器具機械ノ蒐集等施工準備ヲ行ヒ四月末ニ至リ同阪路上ニ設ケタル新事務所ニ移轉シ先ヅ以テ土工工事ヲ開始セリ

前年度ヨリ繰越トナリシ主ナルモノハ志村橋橋臺兩袖ノ土留石垣四箇所、其他志村町地内一部歩道鋪裝、路面排水工、西川樋管等ナリトス

歩道鋪裝ハ志村町地内ニ於テ一千五百六平方米ヲ施行シ路面境界石及植樹根圍等ヲ併セ全部之ヲ完成セリ路面排水ハ志村町地内ニ於テ排水管理設百九十九米及街渠六百六十四米ヲ施行シ何レモ竣功セリ

志村橋ハ其下部ニ於テ橋臺兩袖ノ土留石垣ノ四箇所ヲ施行シ上部ニ於テハ親柱ノ一部加工及高欄取付等ヲ施行シ斯クテ新河岸川堤防ニ設置ノ西川樋管モ之ニ伴ヒ何レモ之ヲ竣功セリ
 本年度使用シタル労働者ハ六千七百八十八人ニシテ工事竣功表左ノ如シ但シ表中「」ハ河川費ヨリ支出額ヲ示ス

費目	前年度迄竣功高		本年度竣功高		合計		歩竣 合功
	數量	金額	數量	金額	數量	金額	
本道	七五〇米	二四、二〇〇	一、七三四米	九、八七三	二、四八二米	三四、〇七三	一・〇〇
工事	未功 一箇所	〇	未功 一箇所	〇	未功 一箇所	〇	一・〇〇
費雜	〇	〇	〇	〇	〇	〇	一・〇〇
用地費	三段	八、一四九	一段	一、〇〇〇	三段	九、一四九	一・〇〇
器具	〇	〇	〇	〇	〇	〇	一・〇〇
雜具	〇	〇	〇	〇	〇	〇	一・〇〇
機械	〇	〇	〇	〇	〇	〇	一・〇〇
費	〇	〇	〇	〇	〇	〇	一・〇〇
共濟組合給與金	〇	一、一三三	〇	〇	〇	一、一三三	一・〇〇
總計	〇	三三、三四三	〇	一〇、八七三	〇	四四、二一六	一・〇〇

第六八 國道九號線(志村)改良工事 七年度失業救濟

緒言

昭和六年度失業救濟事業トシテ施行シタル國道九號線(志村)改良工事區域ノ路面鋪裝ノ大半及其他一部ノ工事ヲ昭和七年度失業救濟事業トシテ工費十二萬八千五百圓ヲ以テ施行スルモノトス

計畫大要

昭和六年度失業救濟事業國道九號線(志村)改良工事ニ準ズルモノトス

施工狀況

工事施行ニ當リテハ志村町ニ設ケタル國道改良事務所統轄ノ下ニ二箇所ノ見張所ヲ設ケテ各分擔施行セリ

前年度失業救濟事業ニ依ル盛土工ハ前年度ニ於テ一旦終了セシモ志村町地先延長四百四十八米ノ區間ハ地盤軟弱ナルト盛土厚キ部分ナリシ爲メ其後相當沈下セシヲ以テ再ビ盛土ヲ施シ其用土ハ前年度同様戸田橋附近荒川高水敷ニ於テ人力掘鑿ニ依リ六庇軌條及零立方米六積土運車ヲ使用シ主トシテ馬力ニ依リ土量三千六百九十八立方米ヲ搬入シ七年六月二十四日竣功セシメ切取及盛土法面ハ之ヲ保護ノ爲メ全區域ニ互リ張芝或ハ筋芝ヲ施セリ

排水工ハ側溝街渠竝ニ排水管理設等ニシテ終點志村蓮根町地内ニ施行セリ側溝ハ幅八十糎トシ土留トシテ兩側ニ杭打板柵ヲ設ケ兩側延長七百九十三米ヲ竣功セシメ街渠ハL型ニシテコンクリートヲ以テ築造シ志村蓮根町地内兩側延長八百五十九米ヲ施行シ排水管ハ内徑三十八糎ノ鐵筋コンクリート管ヲ埋設シ基礎ハコンクリート打トシ側溝ヲ設ケザル箇所ノ一部延長二百四十米ニ施行シ何レモ之ヲ竣功セリ

路面鋪裝ハ志村町ヨリ終點志村蓮根町ニ至ル間ニ於テ車道延長一千六百六十五米及歩道兩側延長二千八百五十九米ニ互リ所定ノ鋪裝工ヲ施行シ車道面積二萬七千六百八十一平方米、歩道面積一萬一千三百九十平方米ヲ完成セリ

其他道路境界石延長三千四百八十六米、植樹根圍三百二十四箇所ヲ施工シ地元志村町青年團ノ寄附ニ係ル街路樹プラタナス五百八十七本ノ植栽ヲ終ヘタリ

本年度使用シタル勞働者ハ二萬九千八百四十五人ニシテ其工事竣功表左ノ如シ

費目	前年度迄竣功高		本年度竣功高		合計		歩竣 合功
	數量	金額	數量	金額	數量	金額	
本道	米	円	米	円	米	円	週分
工事	114.1	104,480	114.1	104,480	228.2	208,960	1.00
費雜	114.1	104,480	114.1	104,480	228.2	208,960	1.00
器具	114.1	104,480	114.1	104,480	228.2	208,960	1.00
機械	114.1	104,480	114.1	104,480	228.2	208,960	1.00
雜費	114.1	104,480	114.1	104,480	228.2	208,960	1.00

第六章 國道改良工事（國道九號線（志村）改良工事）

總計	共濟組合給與金
二六、一四八	千〇〇
二六、一四八	千〇〇
一・〇〇	—

第六九 國道九號線(蕨)改良工事 六年度失業救濟

緒言

本工事ハ昭和六年度失業救濟事業トシテ當初工費豫算三十三萬四千二百十五圓ヲ以テ埼玉縣北足立郡蕨町大字蕨ヨリ同郡六辻村大字根岸ニ至ル延長三千六十四米ヲ施行ノ豫定ナリシガ其後同郡戸田村大字下戸田迄延長一千三百七十二米ヲ追加シ總延長四千四百三十六米トシ工費ヲ三十四萬八千百十五圓ニ改メ施行スルコトトナレリ

計畫大要

施工區域ハ荒川戸田橋ヲ隔テテ東京市ニ接續シ運輸交通上最モ樞要ナル部分ナリトス全線概シテ平坦ナリト雖モ幅員狹小ニシテ僅ニ五米ニ過ギザル箇所アリ平均七米ニ充タズ加フルニ屈曲亦多ク俗ニ七曲ト稱スル六辻村大字辻附近ハ小半徑ノ屈曲多ク交通上ノ危險尠シトセザル現況ナリ
本計畫ハ曩ニ埼玉縣東京府共同ニテ施行シタル荒川架設戸田橋改築工事ノ取付道路(戸田橋ト荒川左岸舊堤間)ノ終點戸田村大字下戸田ヲ起點トシ之ニ聯絡シ戸田村部落内現道ヲ右側ニ擴築シ略一直線ニ北進シ蕨町市街南端ニ於テ少シク左折シ蕨ノ町裏ヲ並行ニ進ミ同市街地北端ニテ現道ト斜交更ニ北進シ殆ンド水田中ヲ一直線ニ新道ヲ開キ六辻村大字辻ニ於テ現道ニ聯絡ス此總延長四千四百三十六米(橋梁延長四十一米五ヲ含ム)ニシテ其間曲線三箇所何レモ半徑四百五十米以上ニシテ現道ノ延長四千七百十

米ニ比シ約二百七十四米ヲ短縮セリ

本路線經過地ハ低地ニシテ水田多ク排水ニ不便ナル地勢ナルヲ以テ路面高ハ路肩ニ於テ附近田面ノ最高水位上三十糎ヲ下ラザルコトトシ縱斷勾配ハ最急三百分ノ一、最緩八百分ノ一ト爲セリ

道路幅員ハ有効十五米ニシテ蕨町市街地ニ當ル區域ハ歩車道ヲ區別シ車道幅十一米、歩道兩側各二米トス尙兩側側溝ニハコンクリート板ノ蓋ヲ爲シ歩道ノ有効幅員ヲ二米宛廣クセリ尙戸田村地内一千三百二十七米間ニ於テモ次年度ニ於テ歩車道ノ高低分離ヲ爲サントス

橋梁ハ六箇所アリ何レモ用惡水路ニ架スルモノニシテ徑間二米七乃至四米五ノ鐵筋コンクリート丁型桁又ハ床版橋トシ又溝橋ハ三箇所ニシテ徑間一米乃至一米八何レモ鐵筋コンクリート床版橋ナリ

排水設備ハ戸田村市街地及蕨町市街地ニ於テハ有効幅員外兩側ニ内法三十糎乃至三十六糎、延長三千七百八米ニU型コンクリート側溝ヲ設ケ雨汚水ノ排水ニ供シ尙蕨町市街地ニ於テハL型街渠ヲ設置シ雨水柵ニ依リ側溝ニ聯絡セシム

路面ハ全幅員十五米ノ内中央十米ヲコンクリート鋪裝トシ他ハ砂利敷トス鋪裝ハ路面形狀五十分ノ一ノ拋物線形トシ基層厚十三糎、厚合一、三、六コンクリート表層ハ厚五糎、厚合一、一、二ノ碎石コンクリートニシテ上、下層同時打トス尙コンクリートニハ中央及橫斷十米毎ニ伸縮目地ヲ設ケエラストタイトヲ挿入シ又地盤軟弱ト認ムル箇所ニハ鐵網ヲ挿入セリ

本工ハ全線殆ンド盛土工ニシテ運搬總土量四萬九千四百二十四立方米ヲ算ス盛土ノ最高ハ田面上一米四ニシテ路端ニ側溝ヲ設クル部分ノ外ハ凡テ土羽打、法面芝張ヲ爲シ法尻防護トシテ板柵工ヲ施行ス又用惡水路ニシテ道路敷ニ當ルモノハ附替ヲ爲シ之ニ伴ヒ溝橋ノ移設、新設ヲ爲スモノトス

施工狀況

工事施行ニ關シテハ昭和六年四月埼玉縣北足立郡蕨町ニ假事務所ヲ設ケ直チニ施行準備ヲ開始シ工事用具機械類ノ蒐集ニ努メ一面測量及實施設計ヲ進メ五月九日新事務所ニ移轉シ同月二十七日ヨリ土工々事ニ著手セリ

本年度ニ於テハ起點附近ニ於テ土砂四百六十三立方米ヲ運搬シ之ガ築立芝付竝ニ法留板柵等ヲ施工シ七年五月下旬ニ至リ竣功セリ

側溝ハ前年度ニ於テ其九分通りヲ終ヘ殘部三十九米モ亦七年五月上旬ニ至リ竣功セリ

路面ハ土工々事終了セル箇所ヨリ漸次施行シ八噸輾壓機又ハ十噸五ノ輾壓機ニ依リ充分輾壓ヲ施シタル後所定ノ二層式鋪裝ヲ施行シ右半幅延長百七十三米面積八百六十七平方米ヲ竣功セリ

橋梁ハ一箇所ニシテ前年度ニ引續キ袖壁コンクリート水路ノ附替等ヲ施行シ四月中旬全部竣功ヲ見ルニ至レリ

本年度使役セル勞働者ハ三千六百五十五人ニシテ工事竣功表左ノ如シ

費事工本 雜 橋 道	費 目	前年度迄竣功高		本年度竣功高		合 計		竣功 步 合
		數	金 額	數	金 額	數	金 額	
工 梁 路	未竣功 箇所一	1,019.7	1,019.7	1,326.8	6,152.3	2,346.5	12,188.7	1,000
		1,019.7	1,019.7	1,326.8	6,152.3	2,346.5	12,188.7	1,000
		1,019.7	1,019.7	1,326.8	6,152.3	2,346.5	12,188.7	1,000
		1,019.7	1,019.7	1,326.8	6,152.3	2,346.5	12,188.7	1,000
		1,019.7	1,019.7	1,326.8	6,152.3	2,346.5	12,188.7	1,000

費目	前年度迄竣功高		本年度竣功高		合計		竣功高
	數量	金額	數量	金額	數量	金額	
用地費							
土地買收		11,400		2,174		13,574	
物件移轉補償		1,400				1,400	
器具機械費						1,814	
雜費		58				58	
共濟組合給與金							
總計		12,858		2,174		15,032	
							10-1

第七〇 國道九號線(蕨)改良工事 七年度失業救濟

緒言

昭和六年度失業救濟事業トシテ施行シタル國道九號線(蕨)改良工事區域中ノ追加區域ハ一部砂利道ノ計畫ナリシモ一般交通狀態ニ鑑ミ昭和七年度失業救濟事業トシテ工費四萬圓ヲ以テ車道全部ヲ鋪裝スルモノトス

計畫大要

昭和六年度失業救濟事業國道九號線(蕨)改良工事ニ準ズルモノトス

施工狀況

工事施行ニ關シテハ蕨町ニ設置セシ國道改良事務所ノ下ニ見張所ヲ設ケテ施行シ鋪裝工事ハ昭和七年七月初旬著手、同十月中旬迄ニ全部ヲ竣功セリ而シテ本工事ニ使役シタル勞働者八千八百七十九人ニシテ工事竣功表左ノ如シ

費目	前年度迄竣功高		本年度竣功高		合計		竣功歩合
	數量	金額	數量	金額	數量	金額	
本工事費一道路	—	—	1,338	335,422	1,338	335,422	100
器具機械費	—	—	—	269	—	269	—
雜費	—	—	—	3,937	—	3,937	—
共濟組合給與金	—	—	—	119	—	119	—
總計	—	—	—	39,817	—	39,817	100

第七一 國道九號線(浦和)改良工事

産業開發

緒言

本工事ハ産業振興ヲ目的トスル昭和七年度工事ニシテ當初工費豫算三十八萬圓ヲ以テ埼玉縣北足立郡六辻村ヨリ同郡浦和町ニ至ル延長三千四百三十一米ヲ施行ノ豫定ナリシガ其後浦和町大字矢頭ニ至ル延長百二十米ヲ追加シ總延長三千五百五十一米ヲ施行スルコトトナレリ

計畫大要

舊中山道ノ内六辻村地内ハ其幅員狹小平均七米五、最小五米五ニシテ小半徑ノ曲線反向シ見透シ頗ル不良ナリ加之縱斷勾配ノ急ナル箇所(十五分ノ一)アリテ屢々交通事故ヲ起シ浦和町地内ニ入りテ幅員稍廣ク十一米アレドモ人家稠密シ電柱類亂立セル爲メ有効九米ニ過ギザル狀況ニ在リ而モ輓近自動車ノ運輸交通ハ著シク激増シ現狀ノ儘ニテハ交通危險ニシテ路面ノ損傷亦著シク維持頗ル困難ナリトス然レドモ現道ニ沿フ改築ハ線形ノ不良ナルト用地買收費及家屋其他障害物移轉費等相當多額ニ上リ不利ナルヲ以テ新ニ路線ヲ撰定セリ

新路線ハ起點ニ於テ現道ノ左ニ分岐シ其西方ヲ並行北進スルコト約一千三百四十米迄ハ田畑ナルヲ以テ盛土ヲ施シ夫レヨリ四百四十米間ハ山林又ハ畑地ナルガ故ニ開鑿シテ新道ヲ構築シ浦和町地内ニ入ルニ及ビ幅員十一米五ノ在來道路ヲ西側ニ擴張利用スルコトトシ終點浦和町大字矢頭ニ達ス縱斷勾配

ハ三十分ノ一乃至八百分ノ一ニシテ最急三十分ノ一此延長百九十米ナリ曲線ハ二箇所ニシテ何レモ半徑五百米ナリトス
計畫幅員ハ十五米ニシテ中央九米ヲ車道トシ厚十八糎ニ碎石コンクリート鋪裝ヲ施シ歩道ハ凡テ砂利敷トス浦和町内ハ歩車道ヲ高低區別シ（歩道ハ兩側各二米五トス）盛土部分ヲ除ク道路ノ兩側ニハコンクリート側溝ヲ設ケテ排水ヲ良好ナラシメ七米間隔ニ街路樹根圍ヲ設クルコトトセリ

施工狀況

工事施行ニ當リテハ浦和町大字砂原ニ改良事務所ヲ置キ實施設計測量及諸調査ヲ行ヒ其間器具機械ノ蒐集等施行準備ニ努メ所要土地ノ買收並ニ障害物移轉等ハ最モ急速ヲ要スルヲ以テ極力之ガ進捗ヲ計リ土地總段別四町二畝七步ヲ買收シタリ
施行區域ハ之ヲ二區ニ分チ各見張所ヲ置キ先ヅ土工工事ヲ開始セリ盛土用土ノ大部分ハ切取土ヲ利用シ尙不足土ハ側溝街渠及水路附替等ノ諸工事ヨリ生ズル殘土ヲ使用セル外一部土取補償ニ依リ採取使用セリ而シテ土運搬ハ主トシテ人力トロニ依リ一部ハ貨物自動車ヲ使用シ土工ニ著手シタルハ八月下旬ニシテ先ヅ家屋其他障害物等尠キ六辻村地内ヨリ施工シ逐次全線ニ及ボシ浦和町大字矢頭地内ヲ除キ其他ハ全部竣功セリ此土工數量一萬七千五百四十七立方米ナリトス
市街地ハ排水設備トシテ側溝及街渠ヲ設クルコトトシ土工稍進捗シタル十月中旬浦和町地内ヨリ著手シ漸次六辻村地内ニ工ヲ進メ浦和町大字矢頭地内ヲ除キ其他ハ年度内完成セリ此竣功延長側溝四千二百二十三米街渠三千四百六十米ナリトス

盛土多キ六辻村地内ハ土運搬終了後自然沈下ヲ俟チテ之ニ充分輾壓ヲ加ヘ浦和町地内幅員擴張ノ區間ハ盛土低キヲ以テ土工終了セル箇所ヨリ漸次輾壓ヲ加ヘシ後六辻村地内ハ八糎厚ニ浦和町地内ハ五糎厚ニ各砂利敷ヲ施シ八噸及十噸半ローラーヲ以テ二十回以上輾壓ヲ行ヒ十一月中旬ヨリ所定ノ鋪裝ニ著手シ逐次工ヲ進メ延長三千四百三十一米面積三萬二千七百七十平方米ヲ完成シ終點浦和町大字矢頭地内延長百二十米ノ區間ハ翌年度ヘ繰越トナレリ

歩道ハ凡テ砂利敷ニシテ六辻村地内面積六千六十八平方米浦和町地内五千八百六十六平方米計一萬一千八百七十四平方米ニ切込砂利徑二十五糎以下五糎止ヲ厚五糎ニ敷均シタル外路面境界コンクリート延長二千四百六十米及支道境界コンクリート七十九米ヲ竣功セリ

橋梁ハ三箇所ニシテ徑間二米五乃至三米八何レモ鐵筋コンクリート床版橋ナリ十二月中旬著手シ一月中旬竣功セリ

暗渠ハ徑間一米八鐵筋コンクリート床版渠一箇所及徑四十五糎乃至九十糎鐵筋コンクリート管九箇所計十箇所ニシテ十二月中旬著手シ翌八年一月中旬竣功セリ

本工事に用勞働者ハ豫定延人員四萬三千六百六十二人ニシテ使用シタル延人員ハ五萬五千三百七十三人トナリ事業完了迄ニハ尙相當延人員ヲ超過使用スルニ至ルベシ

本工事竣功高ハ三十七萬六千四百四十一圓ニシテ之ヲ工費豫算ニ比較スルトキハ九割八分ノ竣功ニ當ル其工事竣功表左ノ如シ

費目	前年度迄竣工高		本年度竣工高		合計	
	數量	金額	數量	金額	數量	金額
本道			34.9	1,141,401	34.9	1,141,401
工事			3	2,948	3	2,948
事橋						
費雜						
用地費			0.0	100,000	0.0	100,000
土地買收				58,074		58,074
物件移轉、補償				14,926		14,926
器具機械費				14,000		14,000
雜費				814		814
共濟組合給與金						
總計				1,300,481		1,300,481
						0.0
						1.00
						0.0
						0.0

第七二 國道九號線(熊谷)改良工事

六年度失業救濟

緒言

本工事ハ昭和六年度失業救濟事業トシテ當初工費豫算九萬三千七百八十五圓ヲ以テ施行ノ豫定ナリシガ其後計畫ノ一部ヲ變更シ三萬二千百圓ヲ増額シテ十二萬五千八百八十五圓ヲ以テ施行スルコト、ナレリ

計畫大要

中山道ノ内吹上、熊谷間現道ノ幅員ハ狹キニ失シ最小四米五、平均五米五ニ過ギズ加フルニ屈曲亦甚シク殊ニ久下村地内荒川左岸堤塘ヲ共用セル區間ニハ急勾配モアリ加フルニ省線高崎線トノ平面交叉二箇所ニ及ビ輓近自動車ニ依ル輸送激増ニ伴ヒ交通事故頻發スル狀況ニシテ之ガ改良ハ最モ急ヲ要スル狀態ナリトス

改良計畫ハ吹上村西端ヨリ熊谷市ニ向ケ殆ンド一直線ニ新道ヲ開設シ以テ鐵道踏切ヲ避ケ屈曲ト急坂トヲ除クコト、シ本年度ニ於テハ右區間ノ内熊谷市寄一千七百九十米三間(橋梁延長十三米二ヲ含ム)ヲ施工セントス而シテ路線ハ東京寄起點ヨリ殆ンド耕地ヲ經過シ秩父鐵道ノ上ヲ跨線シ更ニ耕地ヲ過リ熊谷市地内ニ於テ忍町ニ通ズル縣道ニ合シ之ヨリ右側ニ擴張スルコト約五百十米ニシテ熊谷市内現國道ノ屈曲點ニ聯絡シ之ヲ終點トス

第六章 國道改良工事 (國道九號線(熊谷)改良工事)

總計	用地費				雜具	機械	共濟組合給與金
	土地	買收	物件移轉、補償	費			
1,182,617	1,182,617						
1,082,617	1,082,617						
1,182,617	1,182,617						
1,000,000	1,000,000						

第七三 國道九號線(熊谷)改良工事 農村振興

緒言

本工事ハ農村振興ヲ目的トスル昭和七年度工事ニシテ當初工費豫算三十萬圓ヲ以テ埼玉縣北足立郡吹上村ヨリ同縣大里郡佐谷田村ニ至ル延長五千四百九十三米八(橋梁延長七十五米九ヲ含ム)ヲ施行ノ豫定ナリシガ其後工費三萬圓ヲ減額シ二十七萬圓ヲ以テ施行スルコトトナレリ

計畫大要

中山道ノ内吹上村、熊谷市間ノ現道ハ其幅員狹キニ失シ最小四米五、平均五米五ニ過ギズ且屈曲甚シク殊ニ久下村地内荒川左岸堤塘ヲ共用セル區間ニハ急勾配アリ加フルニ省線高崎線トノ平面交叉二箇所ニ及ビ輓近自動車ニ依ル輸送激増シ交通事故頻發スル狀況ニシテ之ガ改良ハ最モ急ヲ要スル所ナリトス改良計畫ハ吹上村西端ヨリ熊谷市ニ向ケ殆ンド一直線ニ新道ヲ開設シ以テ鐵道踏切ヲ避ケ屈曲ト急坂トヲ除クコトトシ本年度ニ於テハ起點吹上村ヨリ佐谷田村ニ至ル四千八百十五米四及佐谷田村內鐵道跨線橋ノ前後六百七十八米四(秩父鐵道)ヲ立體交叉ノ爲メヲ施工シ熊谷市寄佐谷田村大字戸出地内ニ於テ前年度失業救濟事業トシテ施工セシ箇所ニ連絡セントス

線形ハ概ネ直線ニシテ中途一箇所ノ曲線アリ半徑三千二百二十四米トス而シテ縱斷勾配ハ秩父鐵道ヲ立

體交叉スル爲メ該部分前後三十分ノ一ノ計畫ニシテ之ヲ最急トシ最緩一千五百分ノ一トス
有効幅員ハ十一米ニシテ歩車道ヲ區別セズ路面ハ砂利敷トシ横斷勾配ハ拋物線三十分ノ一トス
橋梁ハ十二箇所ニシテ内元荒川横斷箇所ニハ純徑間十一米ノ鐵筋コンクリート丁型桁橋ヲ架シ秩父鐵
道交叉箇所ニハ純徑間八米六、有効幅員十米ノ鋼板桁橋（鐵筋コンクリート床版）ヲ架設セントス其他ハ純
徑間二米五乃至五米、有効幅員十一米ノ鐵筋コンクリート床版橋ニシテ何レモ用惡水路横斷箇所ニ架設
ス
暗渠ハ七十一箇所ニシテ内床版暗渠八箇所、鐵筋コンクリート排水管六十三箇所ナリ是等ハ何レモ用惡
水路用トシテ施設シ耕作ニ支障ナカラシム

施工狀況

工事施行ニ當リテハ七年十月一日熊谷市筑波區所在前年度使用ノ事務所ヲ其儘利用シ設計、測量其他諸
調査ヲ行ヒ其間器具機械ノ整備等施工準備ニ著手セリ而シテ所要土地ノ買收並ニ家屋其他障害物ノ移
轉等ハ最モ急速ヲ要スルニ依リ極力之ガ進捗ニ努メ土地總段別五町八段三畝六步ヲ買收シ家屋其他移
轉料及諸補償料等ヲ合セ二萬四千九百五十二圓ヲ支出セリ

施行區域ハ之ヲ三區ニ分チ夫々見張所ヲ設ケ各工事ヲ開始セリ即チ土工ハ久下村地内ノ一部ヲ除キ他
ハ全部盛土ニシテ之ガ用土ハ附近ニ適當ナル土取場ナキヲ以テ一部ハ前年度ト同様荒川高水敷ヨリト
ロ運搬ニ依ルコトトシ六町輕便軌條敷設ニ著手シ省線横斷ノ爲メニハ秩父鐵道築堤法腹ヲ利用シ之ニ
土運車捲上動力設備ヲ施シ省線上ヲ假橋ニテ通過セシムル等は等設備ノ完了ヲ俟チ十一月下旬ヨリ土

運搬ヲ開始セリ又一部ハ埼玉縣ノ施行ニ係ル元荒川新川掘鑿箇所ニ於テ人力掘鑿ニ依リデイーゼル機關車(七匹)二臺ヲ使用シ運搬ヲ完了總土數量七萬二千八百四十二立方米ニ及ベリ

擁壁ハ跨線橋盛土高キ箇所ノ法脚保護ノ爲メ兩側延長四百七十一米及大井村ヨリ佐谷田村ニ至ル在來水路ノ一部附替ヲ行ヒタル道路側五箇所延長百三十八米ニ何レモ鐵筋コンクリート擁壁ヲ施工シ護岸及規定ノ路幅ヲ支持セシメタリ

路面ハ全部砂利敷ニシテ盛土相當沈下ヲ俟チ厚五糎ニ敷均シローラー輾壓ヲ行ヒ面積五萬四千四百平方米ヲ竣功セシム

橋梁ハ秩父鐵道交叉箇所ニ於ケル跨線橋徑間八米六、有効幅員十米ノ鋼板桁橋及起點寄元荒川橫斷箇所ニ架設ノ徑間十一米、有効幅員十一米鐵筋コンクリート丁型桁橋其他徑間二米五乃至五米ノ鐵筋コンクリート床版橋十箇所十二橋ニシテ十一月中旬ヨリ昭和八年一月十六日迄ノ間ニ於テ他工事ノ進捗狀況ニ應ジ夫々著手シ何レモ年度内竣功セリ

暗渠ハ徑間一米乃至一米八ノモノ八箇所ハ床版暗渠、内徑四十五糎乃至六十糎ノモノ六十三箇所ハ鐵筋コンクリート管ニシテ計七十一箇所ニ敷設シ從來ノ用惡水路ニ支障ナキヲ期セリ是等ハ何レモ一月中旬ヨリ二月上旬ノ間ニ著手シ年度内全部竣功セリ

其他駒止及官民地境界鐵筋コンクリート柱建設等ノ諸工事モ年度内全部竣功ヲ告ゲ斯クテ前年度竣功セル國道ニ連絡シ吹上村ヨリ熊谷市ニ至ル國道新設工事ノ完成ヲ見ルニ至レリ

本年度勞働者使用豫定延人員ハ九萬五千七百六十一人ニシテ使用シタル延員數八萬九千四百四十四人トナレリ本工事竣功高ハ二十六萬九千五百三十圓ニシテ其竣功表左ノ如シ

費目	前年度迄竣工高		本年度竣工高		合計		歩合
	數量	金額	數量	金額	數量	金額	
本道							
工事							
橋							
費							
雜費							
土地買收			五、四八	三、四八	五、四八	三、四八	一・〇〇
物件移轉、補償							
器具機械費							
雜費							
共濟組合給與金							
總計				一、七〇〇		一、七〇〇	一・〇〇

第七四 國道九號線(高崎)改良工事

六年度失業救濟

緒言

本工事ハ昭和六年度失業救濟事業トシテ當初工費豫算三十二萬四千圓ヲ以テ群馬縣多野郡新町ヨリ同縣群馬郡東村ニ至ル間ニ於テ延長一萬一千八百四十六米ヲ施行ノ豫定ナリシガ其後群馬郡倉賀野町ヨリ同郡佐野村間ニ於テ三十二米五、高崎市ニ於テ二百六米及群馬郡元惣社村地内ニ於テ四百四十四米ヲ延長シ總延長一萬二千五百二十八米ヲ施行スルコト、ナレリ

計畫大要

本改良區間多野郡新町ヨリ高崎市ニ至ル六千六百十三米間ハ舊中山道ニ屬シ一般ニ地勢平坦ニシテ縱斷勾配概ネ良好ナリト雖モ幅員狹ク五米六ヲ超エズ尙所々ニ視距短キ急曲ヲ存セリ本計畫ニ於テハ新町地内ハ左側ヲコンクリート、右側ヲ練積石垣ノ側溝ト爲シ小野村立石新田ハ急曲甚シキヲ以テ新ニ人家南裏ニ路線ヲ撰定シテ直線ト爲シ群馬郡岩鼻村ニ於テモ亦屈曲セル一部ヲ除キ新ニ路線ヲ撰定シ人家連擔地區ナルガ故兩側ニコンクリート側溝ヲ設ケントス

又倉賀野町地内ニハ省線高崎線ノ踏切存スルニ依リ同所ニ跨線橋ヲ架設シ倉賀野町、佐野村間ハ幅員平均六米内外兩側ニ杉並木ヲ存ス樹齡凡ソ百年、目通り六十糎、其延長二千七百米ニ達スルヲ以テ風致上之ヲ保存スルコト、シ左側ニ道路ヲ擴張シテ明朗且乾燥シ易キ道路ト爲シ或ハ並木ヲ狹ンデ兩側ニ幅員

六米以上ヲ保ツ複道ヲ設ケテ風致ヲ添フル事トセリ

又佐野村地内ニ並木延長五百四十アリ兩側ニ工字型側溝ヲ設ケ並木ノ維持ヲ計レリ此外高崎寄延長百六十米ハ二層式コンクリート鋪裝ヲ行ヘリ

以上新町、高崎間ヲ通ジテ有効幅員九米、歩車道ノ區別無ク何レモ水締砂利道トス路床ハ總テ嵩築シ横斷勾配二十五分ノ一ト爲シ路面排水ヲ良好ナラシム

跨線橋前後ノ道路ハ各々最急三十五分ノ一其延長四百四十米トス其他縱斷勾配ハ人家連擔區域ヲ除キ他ハ一般ニ最小二百分ノ一トシ屈曲ノ最小半徑ハ百六十米トス

橋梁ハ凡テ鐵筋コンクリート丁桁又ハ床版橋ト爲セリ尙鐵道跨線橋ハ鋼鈹橋ト爲シ徑間十四米三七、斜交角三十八度十五分ナリ其床版ハ厚十五糎鐵筋コンクリート床版トシ橋面ハ厚六糎ノ膠石鋪裝トセリ高崎市ヨリ前橋市ニ至ル間ノ現道五千八百八十二米ハ概ネ直路平坦ニシテ線形良好、勾配亦適當ニシテ全線ヲ通ジ三百分ノ一、幅員八米内外アリ此區間ハ現路面ヲ整理シ其上ニアスフアルト乳劑簡易鋪裝工事ヲ施行セントス鋪裝幅員ハ六米トシ横斷勾配三十三分ノ一、最急縱斷勾配五十分ノ一、其距離八十米、全線平均勾配ハ前述ノ通り三百分ノ一ナリトス

施工狀況

本工事ハ前年度内ニ殆ド竣功シ本年度ニハ單ニ跡片付ヲ行ヒタルニ過ギズ其工事竣功表左ノ如シ

費目	前年度迄竣功高		本年度竣功高		合計	
	數量	金額	數量	金額	數量	金額
本道	米 二、四三五	三、七三〇	米 一	四	米 二、四三五	三、七三〇
工橋	箇所 〇	二五、五八一	箇所 一		箇所 一	二五、五八一
事雜		二九、二五八				二九、二五八
用地費	段 四	八、一〇一	段 一	一四八	段 五	八、二四九
器具		三、一〇〇		三、〇〇〇		三、一〇〇
雜費		一、八七二		八、一四七		一、八七二
共濟組合給與金		一、二八四		一七七		一、二八四
總計		三三、〇八八		二一、七五八		三三、〇八八
合計						三三、〇八八
竣功						一・〇〇

第七五 國道十號線(碓氷)改良工事 産業開發

緒言

本工事ハ産業振興ヲ目的トスル昭和七年度工事ニシテ當初工費三十萬圓ヲ以テ群馬縣碓氷郡坂本町地内延長一萬二千七百六十四米ヲ施行ノ豫定ナリシガ其後工費六萬圓ヲ増額シ合計三十六萬圓ヲ以テ施行スルコト、ナレリ

計畫大要

本國道ハ群馬縣高崎市ニ於テ九號國道ト分岐シ長野、新潟、秋田ノ三縣ニ通ジ裏日本トノ交通聯絡及軍事上重要ナル路線ニシテ殊ニ避暑地輕井澤町ヲ控ヘ自動車ノ交通日々増加ノ趨勢ニ在リ然レドモ道路ノ現況ハ是等交通ノ發達ニ伴ハズ即チ本改良箇所ハ所謂碓氷峠ノ嶮路ニシテ坂本町西端ヨリ長野縣界ニ至ル延長一萬三千四百十五米ノ區間ニ於テ高低ノ差實ニ四百八十九米ニ達シ此平均勾配約二十七分ノ一ナリト雖モ最急八分ノ一ノ急坂アリ其幅員ハ稀ニ五米ノ箇所アルモ多クハ四米内外ニシテ車輛ノ行違困難ナリ且屈曲實ニ三百六十有餘箇所内半徑四米乃至六米以内ノモノ數十箇所甚ダシキハ銳角曲ノ箇所モアリ全路線ヲ通ジテ鋸狀ノ九十九折ヲ呈ス其兩側ハ急傾斜ノ森林帶或ハ斷崖ニシテ概ネ山腹ニ添ヘル爲メ溪流多ク大小ノ橋梁、溝渠等七十餘箇所ヲ算ス是等ハ凡テ木造ニシテ既ニ腐朽シ且路面ハ砂利道ニシテ凹凸甚ダシク側溝及橫斷排水管等ハ殆ンド閉塞シ排水不能トナリ運輸交通上頗ル危險ナリ

トス

本計畫ニ於テハ甚シキ屈曲部ト急勾配トヲ局部的ニ緩和改良シ一般ニ山腹ニ切込ミテ幅員ヲ擴張シ或ハ左側ニ擁壁ヲ築造シテ路面ノ擴大ヲ計ル等殆ンド在來ノ線形ニ依リ路線ヲ決定セリ之ヲ現道ニ比較スルトキハ延長六百五十米ヲ短縮シ最緩縱斷勾配ハ四百分ノ一全線ヲ通ジ平均二十六分ノ一トナリ聊カ急トナレルモ最急ハ十五分ノ一ニ緩和セラレ屈曲百二十箇所ヲ減ジ最小屈曲半徑ハ十二米トナレリ有効幅員ハ斷崖等ニシテ工費ノ増大スル箇所ハ直線部五米四、曲線部五米八乃至六米四トシ比較的工事容易ナル箇所ハ直線部六米、曲線部六米乃至七米ヲ標準トス橋梁ノ幅員ハ凡テ六米トシ全線ヲ通ジ歩車道ヲ區別セズ

路面ハ大部分水締砂利道ニシテ横斷勾配ハ拋物線形二十五分ノ一ヲ標準トシ起點ヲ去ル四千七百五十九米ノ地點ヨリ同一萬七百九十四米ノ區間ニ於テ延長五千七百三十六米七(中間橋梁及砂利道ノ介在セルモノヲ控除ス)ノ間ハ概ネ粘土質ニシテ地質惡シク且人家ヨリ遠隔シ砂利道トシテハ其維持修繕ノ困難ナルヲ認メ中央三米ヲコンクリート及小鋪石鋪裝トシ鋪裝厚ハ基層十五糎(配合一、三、六)上層四糎(一、一、五、三)碎石コンクリートトシ勾配十五分ノ一乃至二十分ノ一箇所ニハ止止ノ爲メ基層コンクリート厚十二糎及上層ニ約九糎厚鋪石鋪裝ヲ施工ス尙凍結甚ダシキ箇所ニハ鐵網ヲ挿入シ鋪強セントス排水設備ハ道路右側山手ハ全線ニ其左側ハ切取箇所ニ敷幅三十糎深三十糎以上ニ石積又ハ玉石コンクリートヲ以テ各側溝ヲ設ケ約百米毎ニ内徑三十糎乃至六十糎ノ鐵筋コンクリート管ヲ敷設シ排水ノ安全ヲ期シ盛土法ニハ筋芝ヲ植付土砂崩壞ノ虞アル箇所ニハ適當ナル高ノ石垣ヲ設クルコト、セリ橋梁ハ省橋信越線トノ立體交叉ノ爲メ架設セル在來跨線橋二箇所ヲ改築シ溪流及排水路ニ施設セル橋

梁或ハ溝渠等ハ之ヲ整理シテ比較的徑間小ナルモノハ暗渠ニ改メ大ナルモノハ橋梁ニ改築セントス其數暗渠ハ二十一箇所ヲ算シ橋梁ハ橋長四米乃至十七米ノモノ九箇所ナリトス

施工狀況

工事施行ニ當リテハ昭和七年七月一日長野縣北佐久郡輕井澤町大字矢ヶ崎ニ假事務所ヲ設置シ實施設計測量其他諸調査ヲ行ヒ次デ器具機械及工事用材料ノ搬入又ハ人夫合宿所及事務所新設等ノ準備ヲ進メ此間所要土地ノ買收竝ニ電柱其他障害物ノ移轉ニ關スル事務進捗ヲ圖リ施行區域ハ之ヲ四工區ニ分チ各見張所ヲ設置シ同年八月十五日ヨリ土工工事ヲ開始セリ

土工ノ總數量ハ十四萬六百四十一立方米ニシテ内硬岩二萬四千九百六十四立方米、軟岩三萬五千六百九十立方米、土砂八萬五十八立方米ナリトス硬軟岩ノ掘鑿ハ主トシテ爆藥ニ依ルコト、シ其所要量約五千九百七十三疋ヲ陸軍省岩鼻火藥製造所ヨリ拂下ヲ受ケ使用セリ

盛土用土砂ハ凡テ切取土ニシテ距離ニ依リ畚又ハ人力輕便軌條ニ依リ運搬シ年度内三萬一千九百八十一立方米ニ達シ約八割六分ノ功程ヲ舉ゲシモ其他ハ翌年度へ繰越トナレリ

岩石爆破作業ハ九月上旬水戸、赤羽兩工兵隊ノ將兵百八十四名七日間ニ互リ起點ヨリ約四千米及同一萬二千米ノ地點ニ於テ夫々道路開鑿演習トシテ施工シタルヲ以テ工事進捗上多大ノ便益ヲ得タリ尙一般爆破作業ニ當リテハ電信電話竝ニ鐵道等工作物ニ及ボス被害防禦トシテ相當費用ヲ要セシモ爆破ニ依リ積石、碎石等ノ工事用材多量ヲ採集利用シ得タルヲ以テ之ヲ償フニ餘アリト云フ得ベシ
側溝ハ道路右手側延長一萬三千米ニ互リテ施工シ道路ヲ橫斷敷設スル鐵筋コンクリート排水管ハ百

四十箇所ニシテ雨水柵百四十箇所ヲ併セ施工セシモ工事半バニシテ何レモ結氷ノ爲メ翌年度へ繰越トナレリ

擁壁ハ法先又ハ法面土留用トシテ延長二千四百米ニ互リ九月一日著手シ擁壁又ハ側溝石垣ノ天端ニハ幅三十糎厚九糎ノコンクリート頂層工ヲ施シ路面土砂ノ流失天端石ノ崩壞脫出等ヲ防止スルコト、シ延長一萬三千七百六十米ヲ施工セシモ功程六割八分ニシテ其他ハ翌年度へ繰越トナレリ

路面ハ一部鋪裝箇所ヲ除キ大部分水締砂利道ニシテ計畫面積四萬三千百六十五平方米ノ内僅ニ二千六百七十平方米ヲ施工シ其大部分ハ鋪裝ト共ニ翌年度へ繰越セリ

橋梁ハ起點ヨリ二千六百三十七米ノ地點ニ於テ先ヅ碓氷橋架設ニ著手セリ同橋ハ橋長十八米一、有効幅六米ノ鋼桁橋ニシテ昭和七年十一月二十六日起工シ次デ紅葉橋以下六橋並ニ跨線橋二箇所等ヲ起工シ何レモ功程五割内外ニシテ其餘ハ翌年度へ繰越トナレリ

本工事ハ其目的産業振興ニ在ルヲ以テ一般的ニハ失業増加ヲ阻止シ惹テ經濟界ヲ好轉セシムルコトハ最モ緊要ナルヲ以テ可成の多數ノ失業勞働者使用ヲ計リ工事起終兩地點附近ノ各工事ハ坂本町及其近郊並ニ長野縣北佐久郡輕井澤町ヨリ各通勤就勞セシメタルモ起終兩點ヨリ遠キ區域ニハ通勤困難ナルヲ以テ該區域内ニ建坪二十五坪、收容人員一棟五十名ノ人夫宿舍七棟ヲ建設シ事業地ヲ中心ニ約十糎圈内ニアル松井田町外十二箇町村ノ生活困窮者ヲシテ自治的團體ヲ組織シ移住就勞セシメタリ而シテ本工事ニ使用スベキ勞働者豫定延人員ハ十六萬一千人、年度内使用シタル人員數十三萬九千七百一十一人ニシテ工事完成迄ニハ豫定人員ヲ超過スルニ至ルベシ而シテ本年度竣功高ハ二十一萬九千三百八十九圓ニシテ工費豫算三十六萬圓ノ六割一分ニ相當ス其工事竣功表左ノ如シ

第七六 國道十四號線(長野)改良工事

六年度失業救濟

緒言

本工事ハ昭和六年度失業救濟事業トシテ工費四十萬二千九百圓ヲ以テ左記五箇所延長二千七百九十二米ノ改良工事ヲ施行スルモノトス

路線名	改良區間	延長	工費
十號線	自長野市大字中御所 至同市大字南長野	四八六米	一〇〇,四四九圓
	自上田市大字常盤城 至同市大字同字生塚	七〇〇	四〇,一七九
	自北佐久郡小諸町 至同佐久郡同町	六一八	一三二,八九八
	自北佐久郡大里村 至小縣郡滋野村	七二八	二七,八二〇
	自諏訪郡下諏訪町 至小縣郡和田村	二六〇	一〇一,五五四

計畫大要

國道十號線ハ高崎市ニ於テ國道九號線ヨリ分岐シ碓氷峠ヲ越エテ長野縣ニ入り小諸町ヨリ千曲川溪谷ニ沿フテ下リ上田市、長野市、飯山町ヲ經テ新潟縣ニ入り信濃川ニ沿ヒ長岡市、新潟市ニ達ス之ヨリ更ニ延ビテ山形縣ヲ經過シ秋田市ニ到ルモノニシテ本州中部地方唯一ノ表裏日本ヲ結ブ最重要幹線ナリトス而シテ其現狀タル實ニ悲慘ナルモノニシテ往古ノ北國街道其儘ノ狀態ニ委シ路面ハ悉ク土砂道幅員ハ概ネ四米乃至五米屈曲勾配ノ甚シク近代ノ激甚ナル交通量ノ要求ニ對應スル事難ク實ニ全線ニ互リテ大改良ヲ加フル必要ヲ認ムルモノナリ

一、長野市内（十號線）

長野市内ニ於ケル十號線ハ幅員三米七十糎ノ木造丹波島橋ニ依リテ犀川ヲ渡リ幅員僅カ二米四ニ達セザル在來北國街道ニ依リテ市内中央道路ニ聯絡スルモノニシテ其ノ路面モ絶ヘザル砂利敷ニ依リ辛フジテ其體裁ヲ維持セリ茲ニ於テ曩ニ長野市ニ布キタル都市計畫法ニ基キ設定セル街路網ノ中國道ニ該當スル路線一等三類六號ノ一部ヲ採リテ今回其改良ヲ實施セントスルモノナリ新道ハ幅員二十二米ヲ步車道ニ區分シ步道三米七十糎、車道十四米六十糎ノ幅員ヲ有シ路面ハ砂利敷トス

一、上田市内（十號線）

上田市内ニ於ケル十號線ハ平均四米五十糎ニシテ人家連擔櫛比シ直角屈曲多ク交通量ノ消化困難ナルニ至レルモノナリ數年前長野縣ハ此ガ改良計畫ヲ立テ先ヅ長野市及北信方面ニ向ツテ市中心ニ近キ原町ヨリ生塚ニ至ル一新線ヲ決定シ原町ニ接續スル一部ハ國庫ニ補助ヲ得テ既ニ之ガ施工ヲ了セルモノ

ニシテ今般國施行ハ其終點ニ近キ部分ナリトス新道ハ幅員十四米五十四糎五之ヲ步車道ニ區別シ幅員二米九十糎及八米七十四糎五ニシテ路面ハ砂利敷トス

一、北佐久郡小諸町、小縣郡滋野村間(十號線)

此地方ハ淺間山麓ニ在リ火山灰質ノ緩斜臺地ニシテ一方千曲川ノ懸崖ニ臨ミ昔時小諸城所在ノ要害ノ地タリシニ依リ現國道ハ交通不便ニシテ守ルニ容易ナルガ如キ線形ヲトリ急屈曲ト急勾配ヲ重ネタル如ク之ニ加フルニ省線信越線ノ二重踏切アリ此改良ハ多年要望セラレタルモノニシテ今般ノ改良計畫ハ小諸町ヨリ大里村地籍ヲ經テ滋野村東部ニ至ル一新線ヲ撰擇セルモノニシテ此内大里村地籍ハ縣道トシテ長野縣ニ於テ之ヲ施行シ小諸町及滋野村地内ノ部分ヲ國ニ於テ施行スルモノトス小諸町地内ハ幅員十一米ノ砂利道ニシテ滋野村地内ハ有効幅員七米五十糎ノ碎石マカダム道トス

一、和田嶺頂上附近(十四號線)

十四號線ハ長野縣北佐久郡追分ニ於テ十四號線ヨリ分岐シ岩村田町和田峠下諏訪町鹽尻町ヲ經テ木曾川ノ溪谷ニ沿フテ下リ岐阜縣ニ入リ中津町、加納町、大垣市ヲ經過シテ滋賀縣草津町ニ於テ二號線ト合流ス往古ノ所謂中仙道ニシテ封建時代ニ於テハ關西方面諸侯ノ參勤道中ニ依テ人馬輻輳シタルモノナレドモ道路ノ現狀ニ至テハ既ニ述ベタル十號線ニ比シ更ニ不良ナル状態ニ在リ從テ實ニ全線ニ互リテ徹底的大改良ノ必要ヲ見ルモノナリ和田峠ハ諏訪谷及依田谷ニ挾マレ嶺頂海拔一千五百三十四米アリ國道ノ有ツ標高トシテ本邦第一ナリトス上下延長二十六糎ノ峠路ニシテ省線中央線開通ニ依リ一時交通全ク杜絶シ道路敷ハ落葉松林ニ化シタルコトアリト雖モ本來本線ハ松本平、伊那谷方面殊ニ諏訪谷ノ本邦製絲業ノ中心地ト北信地方ヲ連結スル最捷徑タルヲ以テ自動車ノ發達ニ伴フテ本路線モ亦開發サレ

タルモノナリ

峠路ハ平均十五分ノ一勾配ナレトモ頂上ニ近ク八分ノ一乃至十分ノ一以上ノ急勾配ニシテ且嶺頂ノ切割箇所ハ冬期四箇月間積雪ニ埋没サレテ交通全ク杜絶スルヲ以テ先ヅ此箇所ノミノ改良ヲ計畫セルモノナリ即チ頂上切割ノ南側ニ偏シテ隧道ヲ掘鑿シテ勾配ヲ緩和シ北側ハ之ニ取付ケテ切割深キ部分ニハ雪覆工ヲ施設スルモノトス而シテ豫算及工期ノ都合ニ依リテ今回國施工ニ係ルモノハ隧道掘鑿ノミニ限定セリ隧道延長二百六十米勾配三%ニシテ幅員五米五十糎起拱線幅員六米、高五米ナリ拱環ハ厚四十糎及五十糎ノ混凝土ニテ卷立ヲ爲シ路面ハ總厚十七糎ノ混凝土鋪裝ト爲ス

施工狀況

本工事中道路工事、橋梁工事ノ全部ハ昭和六年度ニ於テ竣功シ和田嶺隧道工事ハ僅カニ入口ニ於ケル銘鈹取付ノミヲ殘シテ本年度ニ繰越シタルモノニシテ本年度ニ於テハ右隧道銘鈹取付ト共ニ各箇所ノ跡片付並器具機械類ノ整頓ヲ爲シ殘務ノ整理ヲ行ヒ昭和七年五月三日ヲ以テ全ク是等ノ工事ヲ完了セリ本年度竣功高ハ三千三百七十圓ニシテ前年度竣功高三十九萬九千五百三十圓ヲ合セ總計四十萬二千九百圓ナリ其工事竣功表左ノ如シ

費目	前年度迄竣功高		本年度竣功高		合計		竣功合
	數量	金額	數量	金額	數量	金額	
本道	二、五五五	101,421	—	—	二、五五五	101,421	1.00
工事橋	二箇所	8,370	—	—	二箇所	8,370	1.00
費事	二六〇米	8,943	—	—	二六〇米	8,943	1.00
用器	二〇段	11,411	—	—	二〇段	11,411	—
器具	三、三九九	25,483	—	—	三、三九九	25,483	—
營業	—	—	—	—	—	—	—
雜費	—	—	—	—	—	—	—
共濟組合給與金	—	—	—	—	—	—	—
總計	—	314,810	—	31,110	—	345,920	1.00